全学教育科目に係る
学生による授業アンケート報告書

平成３０年度（平成３０年度第１学期及び第２学期）

１．平成３０年度のアンケートについて

２．アンケートの実施方法

３．各教員あて通知内容

４．アンケート用紙の様式

５．調査対象の解析

６．アンケート結果と解析

７．総合評点の度数分布

８．分析のための全体集計

１．平成 30 年度授業アンケートについて

本学は，授業内容や教育方法の改善の組織的活動の一環として，平成 11 年度より毎年学生による「授業アンケート」を全学的に実施し，その結果を公開している。平成 15 年度までは冊子体の報告書（年次報告書に掲載）を刊行した。平成 16 年度からホームページ上にのみ公開している。平成 18 年度第 2 学期から，一部設問を変更し 16 の設問によるアンケートが用いられている（注1）。平成 24 年度には，授業アンケートの実施方法等を見直し，全学教育科目については高等教育推進機構で，学部専門科目については各学部において，それぞれの特性を考慮した独自の授業アンケートを実施している。さらに平成 25 年度からは，無作為に抽出された一部の科目に対し，「汎用的能力」に関する追加設問を試験的に依頼してきたが，平成 29 年度の調査からは教養科目（コアカリキュラム）を担当する全教員に依頼している。平成 30 年度第 1 学期には 20 科目でスマホ（あるいは PC）によるアンケート（以下 Web アンケートと表す）を試行した。多人数クラスでも支障がないことを確認し，第 2 学期には全科目で Web アンケートを実施した。

本報告は，高等教育推進機構で平成 30 年度第 1 学期と第 2 学期に実施された全学教育科目における「授業アンケート」の結果をまとめたものである。ただし，教員の指示の有無に関わらず入力できるように設定したため，教員がアンケート実施を意図しない場合も入力されていることが，集計後判明した。そのため，受講学生数の 20%を超える入力があった場合のみを集計の対象とした。この不具合を解消するため，令和元年第 1 学期のアンケート調査では，教員からのアンケート記入指示の有無をたずねる設問を設定して判別できるようにする予定である。

両学期を合わせたアンケート実施総授業数は 806（非常勤講師を含む）であり，延べ 26,704 名の学生から回答を得た。アンケート結果は授業担当者だけではなく，部局長や科目責任者にもフィードバックし，教育効果の検証を組織的に行い，授業改善のための資料となっている。また，平成 26 年度実施分から，授業アンケート結果を受けて各教員が改善した事項等について，各教員および科目責任者からの報告をまとめて本学資料ホームページ（学内限定）に公表している。

1.1 回答結果の概要

以下に，平成 30 年度調査結果の概要を示す。

■調査実施概要

各教員に，平成 30 年度に担当している授業科目のうち，適当な一つ以上の科目を選択し，調査を実施するよう依頼した。平成 30 年度第 1 学期および第 2 学期は，非常勤講師を含む

担当教員 701 名中 568 名が調査を実施し，実施率は 81.03%（括弧内は同平成 29 年度，平成 28 年度，27 年度，26 年度，調査結果：82.51%，80.00%，80.57%，75.60%）であった。本学教員の実施率は 82.46%（82.20%，80.30%，82.33%，75.04%），非常勤講師の実施率は 73.15%（84.62%，78.02%，70.48%，78.57%）である。本学教員の実施率は前年度に比べ微増して，過去 3 年間 80%を超えている。非常勤講師の実施率については，前年度から 11.5 ポイントほど減少している。非常勤講師数については，減少する傾向である。平成 24 年度の 150 名が，平成 28 年度には 91 名になり，前年度は 108 名であった。全学教育については，徐々に本学の教員のみで担当するようになってきていることがわかる。アンケートを実施した授業総数は 806（29 年度：812，平成 28 年度：760，平成 27 年度：778，平成 26 年度：724）で，担当教員あたりの延べ実施率は 114.98%（29 年度：117.34%，平成 28 年度：110.95%，平成 27 年度：110.35%，平成 26 年度：102.70%）であった。非常勤講師の担当教員あたりの延べ実施率は，前年度 129.67%に対して，今回は 118.52%であり，実施率は前年度 84.62%に対して今回は 73.15%となった。アンケートを実施する非常勤講師の割合が減少した結果となっている。

■総合評価評定平均値

総合評価は平成 23 年度まで，学生の行動に関する設問 11～13（出席率，授業への積極的な参加，自習時間）を除いた設問 1～10，設問 14～16 までの評定値の平均を指標としていたが，設問 3（授業で要求される作業量）と 4（授業の難易度）は，1.3 節で後述するように，授業の質の直接的な評価とはならないので，平成 24 年度から除外している。また，設問 14（シラバスの達成目標の達成度）も平成 24 年度より 5 段階評価から達成割合を定量的に回答するよう変更したので除外している。結果として，総合評価は，設問 1～2，5～10，15～16 の 5 段階評価平均値を指標としている。今回平成 30 年度の総合評価全体平均は 4.11 であった。平成 25 年度以降，今回の調査までの 6 年間の全体平均値は，4.03，4.04，4.04，3.95，4.12，4.11 と推移し，今回の平均値の変動は小さい。平成 28 年の下降の原因については，1.4 節で詳しく述べるが，回答用紙変更の影響が推測される。

■科目別評定平均値

科目別の平均点は，高い順に演習科目（4.46［前年度：4.47］），外国語科目（4.36［4.39］），選択科目（4.15［4.24］），講義科目（4.04［4.05］），必修科目（4.03［3.99］）となっている。順位は前年と同様の傾向であるが，それぞれの科目区分において，平均点は微減している。必修科目が微増し，すべての科目群で評価値が 4.0 を超えたことは特筆すべきである。講義科目と必修科目の平均点が低くなる原因は，比較的クラスサイズが大きい授業であり，必修科目には難易度の高い数学・物理などの理系基礎科目が含まれているためと考えられる。

■肯定的回答の経年変化と科目別回答傾向

各設問の回答選択肢の上位 2 項目（「強くそう思う」と「そう思う」）を合わせた回答比率（項目番号 4，11，13，14 については，表中の説明通りの集計結果）を表 1 に示した。今回の結果に加えて，「全体」については過去 4 年分の結果も示した。また表の右端には，各設問の「全体」の経年変化を模式的に示した（表の並びと同じく右から左へ平成 26 年度から平成 30 年度を示す）。昨年度から大きく変化したことがわかる。

カテゴリー『授業について』は，肯定的回答の割合が増加し，難易度については，「適切」と回答した学生の割合が前年比で 1.9 ポイント増加している。『授業方法，教員の行動について』も，全体的に増加していることがわかる。『学生の行動について』は，学習時間以外は増加している。『教育効果について』は，すべての項目で微増している。今回の結果は，全体的に肯定的回答割合の増加が目立つ傾向となっている。

科目別に比較すると，授業全体の満足度（設問 16）の高い科目は演習科目（91.6%）や外国語科目（88.8%），満足度の低い科目は講義科目（76.1%）や必修科目（72.7%）であり，例年と同様の傾向である。演習科目と講義科目における授業方法と教員の行動に関する 6 つの設問では，肯定的回答割合は 10 ポイント以上の差をつけて演習科目の方が高いことが多い。それらの内アクティブ・ラーニングの要素のひとつである「教員は効果的に学生参加を促した」については，28.8 ポイントの差がある。講義科目や必修科目については，アクティブ・ラーニングのような双方向の授業に向かない科目もあると考えられ，これらの差を縮めることが正しいとは一概にはいえない。しかし，学生の行動の数値にも差が表れており，「自分はこの授業に積極的に参加した」の肯定的回答割合も演習科目と講義科目の間に 25.7 ポイントの差がある。演習科目の要素の一部を講義科目に導入するなど授業方法に小さな工夫を加えることにより，学生が授業へより積極的に臨むことができるようになる可能性を表した結果であると考えている。

全体的に肯定的回答割合が増加しているものの，それぞれの設問の回答割合の高低の傾向は例年と同様であり，学生の行動に関して，「シラバスの到達目標を 8 割以上達成できた」が全体で 49.9%とほぼ半数である。比較的満足度の高い演習科目は 66.5%となっており授業に積極的に臨み，達成度も高いことがわかる。「知的に刺激され，さらに深く勉強したくなった」は全体で 69.1%，演習科目で 84.5%となっている。他の専門分野や文化に触れる機会を持ち，異なった価値観があることを理解すると同時に，多様な発想と感性を磨くことによって，豊かな創造力が生み出されることが期待される全学教育においては，この数値の向上が望まれるところである。

表１　授業タイプ別「強くそう思う」と「そう思う」を選んだ学生の比率（%）

ｶﾃｺﾞﾘｰ	項目番号	内容	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目	外国語	全体（H30）	全体（H29）	全体（H28）	全体（H27）	全体（H26）
授業について	1	目標，内容，評価方法を明快に示した	85.0	92.5	83.0	88.2	90.5	86.1	84.0	78.5	81.8	81.6
	2	授業はシラバスにそって行われた	85.5	91.9	83.5	88.4	90.6	86.5	83.9	79.1	82.1	81.7
	3	レポート等の作業量は適切だった	80.4	85.4	77.8	83.4	87.6	81.2	77.6	74.6	76.0	75.2
	4	授業の難易度を「C:適切」と回答した学生の割合	54.2	64.1	49.0	60.2	65.2	55.7	53.8	59.8	53.4	53.0
授業方法，教員の行動	5	教員の説明はわかりやすかった	73.4	90.2	71.0	79.1	88.1	75.9	74.4	68.2	72.1	72.8
	6	教員の熱意が伝わってきた	79.5	91.1	75.8	84.8	90.2	81.3	78.8	73.5	76.3	76.3
	7	教員の話し方は聞き取りやすかった	76.9	91.0	74.0	82.3	89.0	79.0	77.7	72.6	74.4	74.7
	8	教員は効果的に学生参加を促した	62.1	90.9	65.2	67.2	90.8	66.4	65.1	61.1	62.6	63.2
	9	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した	76.4	93.7	79.1	78.9	92.4	79.0	79.1	73.6	73.1	73.3
	10	黒板，教科書，プリントやAV機器等の効果的利用	79.6	88.9	77.7	83.1	85.1	80.9	79.3	72.9	75.6	75.0
学生の行動	11	この授業の出席率（80%と100%の合計）	94.4	97.1	94.5	95.0	96.9	94.8	92.9	88.0	92.7	93.0
	12	自分はこの授業に積極的に参加した	55.5	81.2	57.7	60.5	75.4	59.4	57.0	45.4	52.5	52.1
	13	授業一回あたりの学習時間（3時間以上）	12.3	14.9	17.2	9.8	10.0	12.7	15.3	9.1	12.7	12.5
教育効果	14	私はシラバスの到達目標を達成できた（8割以上）	47.0	66.5	44.8	53.2	58.7	49.9	49.2	48.8	48.0	48.5
	15	知的に刺激され，深く勉強したくなった	66.4	84.5	62.1	73.7	77.1	69.1	68.2	60.8	64.5	65.7
	16	授業は全体として満足できるものだった	76.1	91.6	72.7	82.2	88.8	78.4	75.9	71.1	74.3	75.0
回答人数（人）			22,706	3,986	10,622	16,074	5,055	26,704	29,746	29,122	31,805	29,009

項目 4，11，13，14 については，それぞれの内容にある通りの集計を行っている

■授業１回あたりの授業外学修時間

授業１回あたりに費やした授業外学修時間（設問 13）は，「30 分以下」が 39.9%（括弧内は同平成 29 年度，28 年度，27 年度，26 年度の調査結果を順に記載：37.5%，42.0%，38.9%，38.0%），「1 時間」が 30.8%（28.3%，30.3%，29.7%，30.9%），「2 時間」が 16.6%（18.9%，18.7%，18.6%，18.5%），「3 時間」が 6.7%（8.3%，5.5%，7.2%，7.3%），「4 時間以上」が 6.0%（7.1%，3.6%，5.5%，5.3%）で，前年度の調査と比較すると，「30 分以下」「１時間」が増加し，「3 時間以上」「４時間以上」が減少している。授業外学修時間の平均（注２）は，1.18 時間（1.28 時間，1.09 時間，1.20 時間，1.20 時間）であり，１昨年度が最も長く，昨年度は微減している。平成 28 年度の減少要因については，回答用紙変更の影響が考えられ，1.4 節に詳細を述べている。

平成 26 年度以降の必修／選択科目別とクラスサイズ別の授業外学修時間を表 2 に示した。平成 30 年度は，必修科目は 1.43 時間，選択科目は 1.02 時間となっている。前年比で，必修科目は変わらなかったが，選択科目は 6.6 分減であった。必修科目と選択科目の差は 24.6 分であり，前年の 18.0 分から若干差が広がった。クラスサイズ別では，25 人以下のクラスで 1.26 時間，26 人から 50 人で 1.20 時間，51 人から 100 人で 1.21 時間，101 人から 200 人で 1.19 時間，201 人以上で 0.94 時間であった。表 2 の下端には，各分類における授業外学修時間の経年変化を模式的に示しているが（左から右へ平成 26 年度から平成 30 年度を示す），どの分類においても平成 29 年度に授業外学修時間がほぼ増加したが，昨年度は選択科目やクラスサイズの小さい科目で減少が見られる。

表 2　必修／選択別，クラスサイズ別授業外学修時間（単位：時間）

年度	必修／選択別		クラスサイズ				
	必修	選択	25人以下	26～50 人	51～100 人	101～200 人	201人以上
平成26年度	1.28	1.12	1.38	1.24	1.19	1.22	0.99
平成27年度	1.34	1.07	1.32	1.22	1.21	1.29	0.94
平成28年度	1.20	0.99	1.25	1.19	1.10	1.04	0.77
平成29年度	1.43	1.13	1.36	1.34	1.31	1.28	0.98
平成30年度	1.43	1.02	1.26	1.20	1.21	1.19	0.94

授業形態（注3）別の授業外学修時間を表 3 に示した。演習の授業外学修時間が最も長く，外国語，講義の順に短くなっている。なお，平成 29 年度より、総合科目（4 ターム制を除く）が 2 単位化されたので，講義科目を 2 単位／1 単位に分けて分析せず，講義科目全体の授業外学修時間を求めた。

表 3 の下端には，各科目区分における授業外学修時間の経年変化を模式的に示した（左から右へ平成 26 年度から平成 30 年度を示す)。授業形態によるどの区分においても，平成 29 年度の授業外学修時間の増加が目立つ結果となっている。

表 3　授業形態による授業外学修時間（単位：時間）

科目区分 授業形態	全学教育科目			
	講義		演習	外国語
	2単位	1単位		
平成26年度	1.20	0.83	1.39	1.32
平成27年度	1.21	0.87	1.28	1.35
平成28年度	1.07	0.75	1.23	1.29
平成29年度	1.25		1.46	1.41
平成30年度	1.16		1.32	1.31

※平成 25 年度より実技（体育 A）は，アンケートの対象外。平成 29 年度より、総合科目（4 ターム制を除く）が、2 単位化されたので、講義科目を 2 単位／1 単位に分けて分析せず、講義科目全体の授業外学修時間を求めた。

授業外学修時間に関する設問は，平成 18 年度第 1 学期の授業アンケート実施分から，単位の実質化の進展状況を把握する指標のひとつとして導入し（注4），調査を継続している。授業外学修時間の推移を表 4 に示す。過去 5 年間は，1.09 時間から 1.28 時間の間で推移している。28 年度は 1.09 時間で，他より少ない理由はアンケート用紙の不備と解釈した。29 年度以降の調査結果は 1.20 時間で推移しており，そのことを裏付けている。回答者の比率

を見ると，1 時間以下が増加し，その分 3 時間および 4 時間以上が減少している。なお、平成 18 年度以降，長期間の授業外学修時間の経年変化については，高等教育推進機構ニュースレターNo.112 (注5) に詳細が掲載されている。

表 4　授業外学修時間の推移（全学教育科目）

	回答者の比率(%)				授業外学修時間平均値
	1時間以下	2時間	3時間	4時間以上	
平成26年度（1学期・2学期）	69.0	18.5	7.3	5.3	1.20
平成27年度（1学期・2学期）	68.7	18.6	7.2	5.6	1.20
平成28年度（1学期・2学期）	72.2	18.7	5.5	3.6	1.09
平成29年度（1学期・2学期）	65.8	18.9	8.3	7.1	1.28
平成30年度（1学期・2学期）	70.6	16.6	6.7	6.0	1.18

■文系／理系別総合評点

今回の調査の総合評点（設問 1～2，5～10，15～16 のアンケート回答数全体の平均値）は，4.11 であった。平成 24 年度に 4.01 と初めて 4.00 を超えて以来，その値は毎年ごくわずか上昇しており，平成 26 年度は 4.04，平成 27 年度は 4.04，平成 28 年度は 3.95，平成 29 年度は 4.12 であったが今回微減した。

表 5 には，非常勤講師が担当する授業を除外した（非常勤講師担当の授業は文系／理系に区分されておらず，「非常勤講師」とだけ分類されているため）科目ごとの総合評点をもとに分析した過去 5 年分の結果を示した。今回，文系科目 4.38 に対して，理系科目は 4.12 であり，文高理低の傾向が長く続いている (注6)。前年度と比較をすると，全体的に評点はわずかな増減であった。文系科目と理系科目の差は徐々に広がる傾向にあったため，理系科目の総合評点が上がるような授業改善を行っていく必要性を述べたところ，27 年度はその差 0.05 点と縮まり，改善の兆しが見えた結果となったと述べた。しかし，28，29 年度と再びその差が広がり，30 年度も同じ傾向であった。

表 5　総合評価の系別の平均値と標準偏差（SD）

		全学教育全体	全学教育	
			文系	理系
平成26年度	平均値(SD)	4.18 (0.39)	4.33 (0.33)	4.04 (0.40)
	範囲	2.33-5.00	3.21-5.00	2.33-4.94
	授業数	599	289	310
平成27年度	平均値(SD)	4.19 (0.38)	4.21 (0.37)	4.16 (0.38)
	範囲	2.57-4.96	2.57-4.95	2.61-4.96
	授業数	661	311	350
平成28年度	平均値(SD)	4.06 (0.39)	4.18 (0.34)	3.95 (0.40)
	範囲	2.55-5.00	2.96-5.00	2.55-4.95
	授業数	656	328	328
平成29年度	平均値(SD)	4.26 (0.38)	4.40 (0.32)	4.11 (0.39)
	範囲	2.68-5.00	2.83-5.00	2.68-4.95
	授業数	696	362	334
平成30年度	平均値(SD)	4.25 (0.38)	4.38 (0.32)	4.12 (0.39)
	範囲	2.92-5.00	2.96-5.00	2.92-4.98
	授業数	720	369	351

※非常勤講師の担当授業は除外

総合評価は、設問 1～2、5～10、15～16 の平均値

1.2 授業改善のための取り組み

■全学教育科目に係る学生による授業アンケート結果を受けての報告書

平成 26 年度から，授業アンケート結果を受けて各教員が改善した事項等について，各教員および科目責任者からの報告をまとめて本学資料ホームページ（学内限定）に公表している。

■教育研究総長表彰

教育研究活動において優れた功績を上げた教員を顕彰する教育総長賞制度が平成 23 年度に創設された。当初教育総長賞と研究総長賞に分かれ各々50 名程度表彰されていたが，平成 29 年度からは両賞を合わせて教育研究総長賞として，15 名に授与されている（注 7）。

■授業参観

授業改善方策の一環として，平成 22 年度から一部の全学教育科目の授業参観を実施している。「授業アンケートによるエクセレント・ティーチャーズ」の担当科目，授業アンケートにおける評価の高い科目，科目責任者が推薦する外国語・理系基礎科目，公開希望があった科目などが対象である。ティーチング・フェローやティーチング・アシスタントも参加可能であり，前者については授業参観参加を義務化している。平成 30 年度の参加者数は，

延べ人数で 1 学期 36 名，2 学期 31 名の計 67 名であった。

■1 週間あたりの授業外学修時間

本学は，平成 21 年度から，複数の大学が参加する学習状況調査（IR ネットワーク）に加わり，毎年 1 年生および 3 年生を対象に共通アンケートを実施している。この調査内では，「1 週間あたりの授業外学修時間」を聞いている。平成 30 年度の調査結果では，1 年生の平均が 8.5 時間，3 年生は 6.8 時間で減少した。平成 25 年度以降の経年変化については，表 6 に示した。直近 6 年間の調査において，大きな変動がないことがわかる。このことからも本調査の 28 年度の値が他より少ない理由は，アンケート用紙の不備と解釈した。

表 6　1 週間あたりの授業外学修時間（単位：時間）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1年生	7.9	7.5	8.4	8.2	8.7	8.5
3年生	7.2	7.6	7.0	7.4	7.1	6.8

■FD（Faculty Development）

平成 27 年 4 月に，高等教育研修センターが高等教育推進機構に設置され，年間 40 回程度の教員研修を実施している。その研修内容は，シラバスの適切な書き方や ELMS（北大版 e-ラーニングシステム），グループ学習，クリッカーなどのアクティブ・ラーニングの手法に関する研修，英語で授業を行うための研修など多岐にわたっている。

1.3 単位の実質化と総合評価の算出方法

本学は，「単位の実質化」の実現に向けて，GPA 制度の本格的運用と履修単位数の上限設定の導入，FD（教育ワークショップ）で「単位の実質化」を重視した授業設計の実習を行うなど，積極的な取り組みを推進してきた。しかし，授業内容の難易度や課される作業量について，教員と学生の期待や認識に大きなズレがあることが広く知られており，授業外学修時間を増やすための教員の努力が現行の授業アンケートにおける総合評価に好意的に反映されない可能性が示唆されている[注8]。そこで，平成 24 年度実施分から設問 3（作業量）および設問 4（難易度）を総合評価の対象から除外した。この判断の妥当性は毎年の調査において確認している。

表 7 は，授業アンケートの各設問について，回答選択肢毎の授業外学修時間平均値を示したものである。作業量については，その量が適切かどうかの回答と授業外学修時間の間に相関が見られない。難易度については過去の結果と同様に「5．極めて難しい」と回答した学生の平均値が最も高く，適切な作業量であるかについては「1．強くそう思わない」の

平均値が最も高くなっている。具体的には次の通りである。

● 設問 3「授業で要求される作業量は適切であった」（表 7）

回答者の 81.2%が「適切だった」（「強くそう思う」または「そう思う」を選択）と回答し，これらの学生の授業外学修時間の平均は 1.13 時間であるのに対し，「不適切だった」（「強くそう思わない」または「そう思わない」を選択）と回答した 5.39%の学生の授業外学修時間の平均は，1.70 時間であった。つまり，学生が考える適切な作業量は，授業外学修時間の平均である 1 時間程度で完了できるものであり，それ以上時間を要すると課題の量が多く，完成に時間がかかるので不適切だと判断していると解釈することができる。また，「どちらともいえない」や「そう思う」を選択した学生の授業外学修時間は，それぞれ 1.26 時間，1.05 時間と平均程度から短い方に偏っているので，この中には課題量が少ないと感じている学生も存在していると考えられる。

● 設問 4「授業内容の難易度は適切であった」

「極めて難しい」と回答した学生の授業外学修時間の平均は 1.92 時間，「難しい」が 1.27 時間，「適切」が 1.04 時間であり，以下「やさしい」と「極めてやさしい」がそれぞれ 0.83 時間，0.68 時間と 1 時間以下となっている。難易度と授業外学修時間に正の相関があることは例年と同様である。また，「適切」を評価 5，「難しい」と「やさしい」を評価 3，「極めて難しい」と「極めてやさしい」を評価 1 と換算して結果を見てみると，「適切」と回答した授業外学修時間が最も短く 1.04 時間となる。理想は，「適切」と評価する学生の授業外学修時間が最も長くなることではあるが，結果が示す通り評価に授業外学修時間の長さが反映されない。

以上のことから，過去の調査とおおよそ同様に，「作業量」と「難易度」の回答に対する評点が，単位の実質化のめざす方向と矛盾していることが示されている（注8）。

表 7　回答選択肢ごとの平均授業外学修時 a)（上段）、標準偏差（中段）、度数（下段）［平成 30 年度全学教育］　グレー色部分は設問毎の最も高い平均授業外学修時間を示す。

設問			回答選択肢 b)				
	内容	番号	1	2	3	4	5
A 授業内容	授業目標、内容、評価方法が明快なシラバス	Q1	1.20 (1.31) 116	1.07 (1.13) 259	1.17 (1.01) 3,309	1.06 (0.95) 11,767	1.32 (1.20) 11,117
	シラバスに沿って行われた	Q2	1.12 (1.22) 121	1.10 (1.09) 271	1.20 (1.02) 3,207	1.05 (0.95) 11,538	1.32 (1.20) 11,430
	適切な作業量	Q3	2.16 (1.49) 422	1.51 (1.18) 1,010	1.26 (1.04) 3,577	1.05 (0.93) 10,128	1.21 (1.15) 11,437
	難易度 c)	Q4	0.68 (0.86) 204	0.83 (0.85) 1,209	1.04 (0.94) 14,806	1.27 (1.08) 7,687	1.92 (1.49) 2,673
	難易度（変換）d)		1.83 (1.49) 2,877	—	1.21 (1.06) 8,896	—	1.04 (0.94) 14,806
B 授業手法・教員の行動	わかりやすい説明	Q5	1.23 (1.20) 534	1.05 (0.98) 1,497	1.10 (0.96) 4,375	1.07 (0.97) 10,353	1.36 (1.21) 9,796
	熱意が伝わった	Q6	1.30 (1.26) 321	1.08 (1.00) 830	1.14 (0.98) 3,833	1.06 (0.97) 9,926	1.30 (1.18) 11,670
	聞き取りやすい	Q7	1.15 (1.15) 492	1.04 (0.95) 1,218	1.11 (0.96) 3,872	1.07 (0.98) 9,910	1.32 (1.19) 11,089
	参加を促進	Q8	0.95 (1.05) 681	0.80 (0.83) 2,077	1.01 (0.94) 6,186	1.12 (0.99) 8,831	1.47 (1.24) 8,807
	適切な対応	Q9	1.18 (1.27) 221	0.97 (0.93) 523	0.99 (0.91) 4,850	1.09 (0.98) 9,861	1.36 (1.20) 11,121
	適切な機器使用	Q10	1.07 (1.14) 325	0.96 (0.91) 953	1.16 (0.95) 3,785	1.07 (0.97) 10,382	1.32 (1.20) 11,125
C 学生の行動	出席率 e)	Q11	0.47 (0.72) 95	1.10 (1.02) 133	1.45 (0.96) 1,162	1.05 (1.00) 7,265	1.22 (1.11) 17,936
	積極的な授業参加	Q12	0.60 (0.82) 709	0.64 (0.68) 2,199	0.93 (0.85) 7,857	1.20 (0.99) 9,577	1.73 (1.35) 6,168
D 教育効果	知的刺激、学習意欲向上	Q15	1.00 (1.12) 781	0.87 (0.89) 1,595	1.03 (0.92) 5,832	1.10 (0.97) 10,419	1.48 (1.28) 7,931
	満足度	Q16	1.20 (1.23) 466	1.05 (1.02) 1,030	1.11 (0.97) 4,243	1.07 (0.96) 10,474	1.34 (1.21) 10,348

a)　0.25=30 分以下，1=1 時間，2=2 時間，3=3 時間，4=4 時間以上　として計算した
b)　1=強くそう思わない，2=そうは思わない，3=どちらともいえない，4=そう思う，5=強くそう思う
c)　1=極めてやさしい，2=やさしい，3=適切，4=難しい，5=極めて難しい
d)　1=極めてやさしい+極めて難しい，3=やさしい+難しい，5=適切
e)　1=20%，2=40%，3=60%，4=80%，5=100%

1.4 回答傾向の正常化について

平成 28 年度の自習時間が大きく減少した原因は，アンケート用紙の回答欄の選択肢が逆順になっていることを平成 28 年度の報告で推測した。学生が正しく回答することができなかった要因として，平成 28 年度の授業アンケートにおいて，変更した回答用紙にあると考えられた。すなわち，数字の選択肢の並びが，前年度とは逆になっている点である。説明書きの並びが「５，４，３，２，１」に対して，解答欄は，「１，２，３，４，５」の順になっていた。一方，アルファベットの選択肢の並びは，前年と同様，「Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅ」の順になっている。このため，学生が誤認して逆順に回答したことが推測されたのである。平成 29 年度以降の調査においては，回答用紙の数字選択肢の並び順を，「５，４，３，２，１」へ修正した。このため，今回の自習時間は平成 27 年度までの傾向を追うように変動している。これにより，以上の推測が確認された。

1.5 汎用的能力に関する追加設問の回答結果概要

汎用的能力の教育成果に関する 4 つの設問（コミュニケーション能力，人間や社会の多様性の理解，創造的な思考能力と建設的な批判的能力，社会的責任と普遍的な倫理観の向上度）を追加設問とした。これまで試行として，教養科目（コアカリキュラム）の中から無作為に抽出した一部科目を対象に調査を行ってきたが，今回の調査より教養科目を担当する全教員に調査を依頼することとなった。今回，385 科目（前年度：211 科目）から回答を得た。4 つの設問の内，どの設問を追加設問とするかは，各担当教員に任されており，全員が必ずしもすべてに回答しているとは限らない。また今回の 2 学期に実施した Web 調査では,教員に追加設問の有無をたずねておらず，学生から回答のあった科目すべてを対象にして分析した。したがって，教員が回答の指示を出していない場合も含まれる。以下に，平成 30 年度の調査結果の概要を示す。

■設問項目

設問は，「この授業を受講して，下記の「追加設問１～４」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか？」となっており，5 段階評価（５：かなり向上した，４：少し向上した，３：どちらともいえない，２：あまり向上しなかった，１：向上しなかった）で回答を求めている。各設問の詳細は次の通りである。

１）コミュニケーション能力

（人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること，自分の考えを的確に言語的に表現できること，相互にアイデアを交換できること。）

２）人間や社会の多様性を理解

（各学問分野の専門家が，専門の壁を越えて行う授業を通して，それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに，自分が志望する専門以外の分野についても，積極的に視野を広げること。）

３）創造的な思考能力と建設的な批判的能力

（根拠にもとづく推論とは何か，矛盾をどのように解決するか，公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって，独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。）

４）社会的責任と普遍的な倫理観

（制度や科学技術が高度に発達した社会において，人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について，具体的な事例の検討を通じて考えること。）

■5 段階評価の平均値

4 つの設問それぞれについて，5 段階評価の平均値を「全体」に加え，「講義／演習／必修／選択」科目別，「文系／理系」別，「クラスサイズ」別，「科目区分」別に求め，グラフ化した（図 3，4，5，6）。

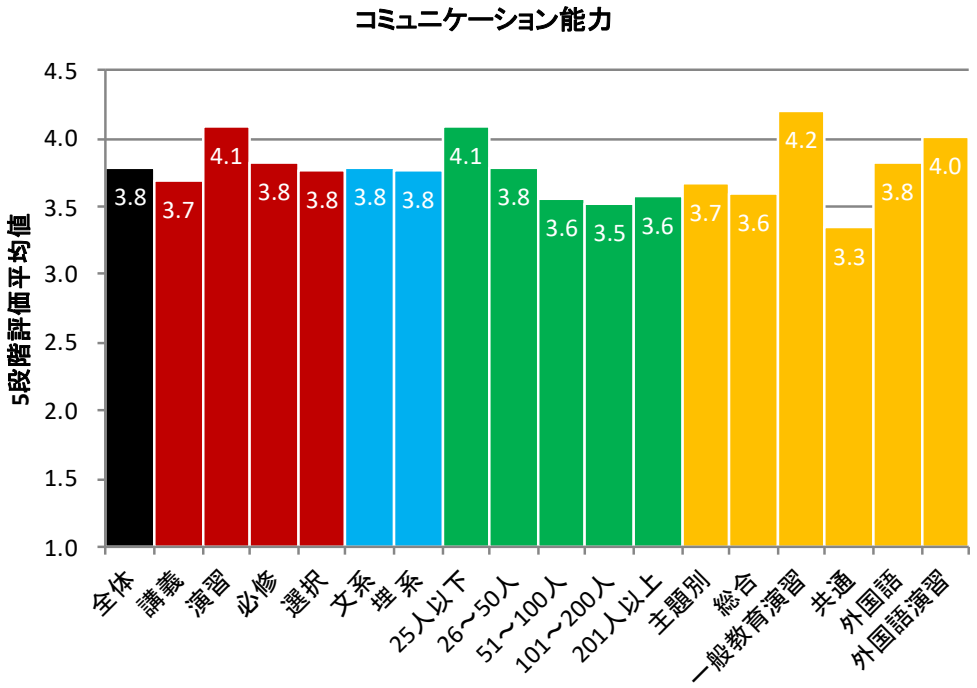


図 3　コミュニケーション能力の平均評点

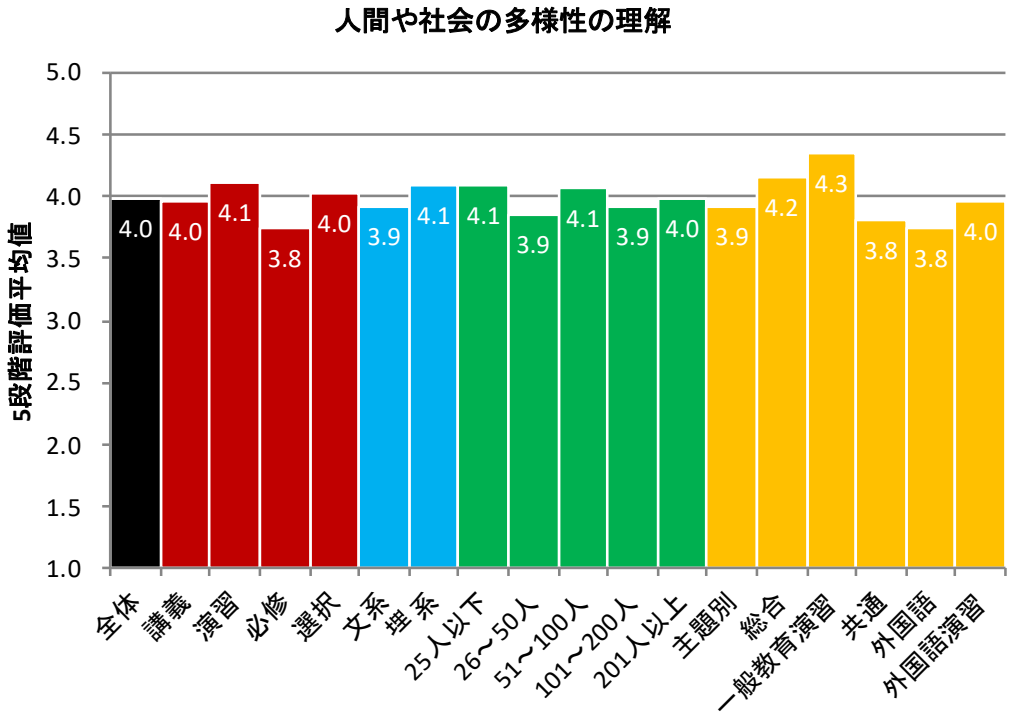


図 4　人間や社会の多様性の平均評点

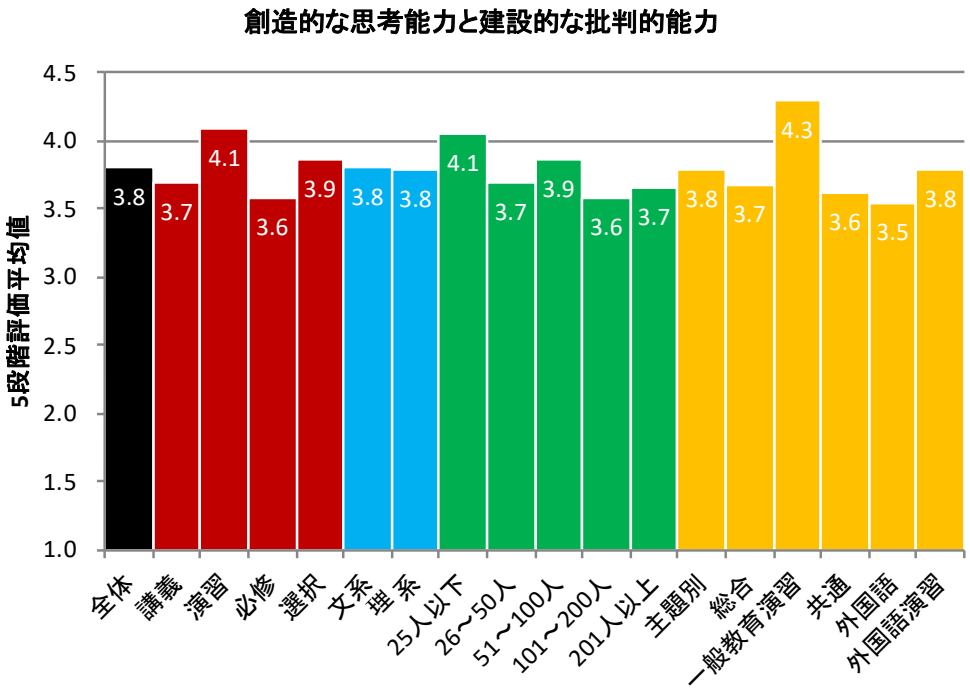


図 5　創造的な思考能力と建設的な批判的能力の平均評点

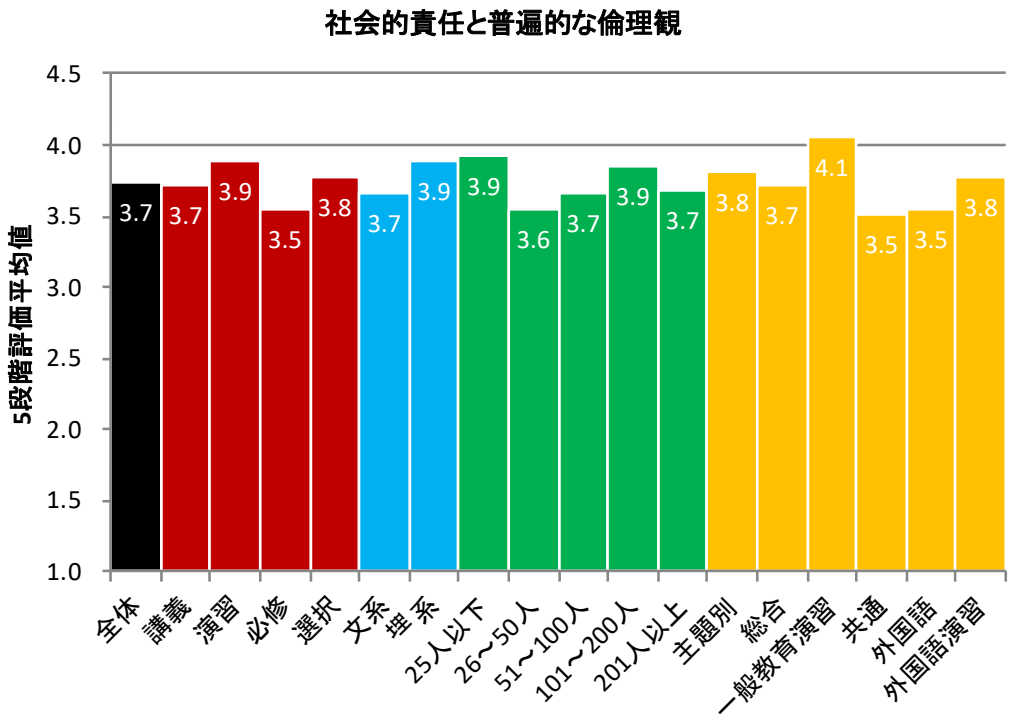


図 6　社会的責任と普遍的な倫理観の平均評点

■全体平均の比較

4 つの質問の全体平均を比較し，評点の順に並べると，「人間や社会の多様性の理解（評価平均値：3.978)」，「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（3.810)」，「コミュニケーション能力（3.784,)」，「社会的責任と普遍的な倫理観（3.741)」，であった。平成 29 年度は「人間や社会の多様性の理解（4.191)」，「コミュニケーション能力（3.916,)」，「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（評価平均値：3.910)」，「社会的責任と普遍的な倫理観（3.862)」の順であった。表 11 には，27～29 年度と今回の調査の各設問回答者数と標準偏差を示した。次に，設問毎に詳細を議論する。

表 11　各設問の回答者人数と回答の標準偏差

設問	平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差
コミュニケーション能力	2,286	0.91	3,323	0.90	3,572	0.95	2,236	1.05
人間や社会の多様性の理解	2,477	0.87	2,826	0.79	3,605	0.95	2,882	0.83
創造的な思考能力と建設的な批判的能力	2,306	0.94	1,670	0.87	2,428	0.99	1,783	0.87
社会的責任と普遍的な倫理観	1,610	0.92	1,313	0.94	1,552	0.99	1,111	0.95

■コミュニケーション能力

評価平均値の最高値は，「一般教育演習」の 4.2（平成 29 年度：4.3，平成 28 年度：4.1，27 年度：4.3）であった。最低値は，前年度と同様「共通科目」の 3.3 であった。一般教育

演習が分類されている「演習科目」,「クラスサイズ 25 人以下」でもその評価は高く，この科目が学生のコミュニケーション能力の涵養に貢献していると結果と言える。

■人間や社会の多様性の理解

この設問では,「一般教育演習」と「総合」の平均値が 4.3，4.2 と高くなっている。続いて「25 人以下」と「51～100 人」,「演習」の 4.1 である。それぞれの授業科目の内容から考えると順当な結果であるが，科目区分で最低値を示した「必修」「共通科目」「外国語」でも評価平均値は 3.8 であり，科目区分間差が広がらない結果となっている。この項目は文系と理系の差が認められる。

■創造的な思考能力と建設的な批判的能力

この設問においても,「一般教育演習」と「演習」,「25 人以下」の評価値が高くなっており，4.3，4.1 である。文系と理系の差は小さい。

■社会的責任と普遍的な倫理観

この設問は文系と理系の差がある。「一般教育演習」が,「外国語演習」や「主題別科目」を超える評価値を示している。これらの授業では，具体的に「社会的責任」や「倫理観」に関することを取り上げていると考えられる。

■まとめ

３つの設問において，最も評価値が高いのは「一般教育演習」である。さらに一般教育演習が分類される「演習科目」,「少人数クラス」が続いて高評価値を示している。これらの能力の獲得に一般教育演習が大きく貢献していることを示す結果となっている。また，今年度の結果では,「外国語演習」が比較的高い評価値を得ていることが注目される。

注

1. 新旧設問の対照表は下記の URL を参照。
   http://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/hokoku/2008/s1/01.html
2. 30 分以下＝0.25，1 時間＝1，2 時間＝2，3 時間＝3，4 時間以上＝4（単位：時間），に変換して計算した。
3. アンケート提出票（教員用，1 学期）の授業の形態に関する質問への回答（1=講義，2=演習）に基づき分類した。2 学期は授業情報からのデータにより分類した。
4. 高等教育機能開発総合センター『センターニュース』第 74 号，2008，pp.1-5
   参照 URL：https://high.high.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2014/12/74.pdf
5. 高等教育推進機構『ニュースレター』第 112 号，2018，pp.12-15
   参照 URL：https://high.high.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2018/10/112.pdf
6. 文系と理系は，授業内容ではなく，授業担当教員の所属部局で区別している。
7. 北大時報　平成 30 年 4 月 No.769
   参照 URL：https://www.hokudai.ac.jp/pr/jihou_18_04.pdf
8. 北海道大学評価室(2008)「学生による授業アンケート報告書」（平成 19 年度）
   北海道大学評価室(2009)「学生による授業アンケート報告書」（平成 20 年度）
   北海道大学評価室(2010)「学生による授業アンケート報告書」（平成 21 年度）
   北海道大学評価室(2011)「学生による授業アンケート報告書」（平成 22 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2012)「学生による授業アンケート報告書」（平成 23 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2013)「学生による授業アンケート報告書」（平成 24 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2014)「学生による授業アンケート報告書」（平成 25 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2015)「学生による授業アンケート報告書」（平成 26 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2016)「学生による授業アンケート報告書」（平成 27 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2017)「学生による授業アンケート報告書」（平成 28 年度）
   北海道大学高等教育推進機構(2018)「学生による授業アンケート報告書」（平成 29 年度）

   参照 URL：
   http://www.hokudai.ac.jp/pr/tenken/tenken/self/jugyo/　（平成 23 年度 1 学期期まで）
   http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/enquete/enquete.htm
   （平成 23 年度 2 学期以降）

２．アンケートの実施方法

対象となる授業

平成３０年度第１学期及び第２学期に開講された全学教育科目を対象とした。
分析に際し，各授業を以下のように分類した。

・**授業形態**：講義，演習
・**科目区分**：一般教育演習，外国語演習，外国語科目，基礎科目，共通科目，主題別科目，総合科目，日本語科目及び日本事情に関する科目
・**必修，選択の別**
・**受講登録学生数**（クラスサイズ）：25 人以下，26～50 人，51 人～100 人，101～200 人，201 人以上

実施方法

第１学期には，各教員が平成３０年度に担当している授業科目のうち適当な１つ以上の科目を選択し，授業中にアンケート用紙を配布した。用紙の回収は原則として学生が行い，学務部学務企画課に直接提出する方法とした。第１学期の Web アンケート試行 20 科目と，第２学期の対象科目は Web 上で実施した。Web アンケートでは，講義時間中に教員が学生にスマートフォンから入力するよう依頼した。しかし，すべての科目で入力可能としたため，教員の指示がない場合の入力も認められた。第２学期に教員の指示の有無についてチェックする仕組みがなかったため，少数の入力があるクラスが散見された。このためクラスの学生数の 20%を超える入力があった場合を分析の対象とした。この場合の科目数は前年度とほぼ同じであった。令和元年には教員の指示の有無をチェックする項目をアンケート項目に設け，この不具合を避ける予定である。

設問について

アンケートの設問は，Ａ：「授業内容に関する項目」，Ｂ：「授業手法，教員の行動」，Ｃ：「受講者の行動」，Ｄ：「教育効果」に分類した。

なお，アンケートは，全授業に対して一律の設問及び回答の選択肢であるため，授業固有の項目に関して教員が独自に設定した質問に学生が答えるという形式のアンケートを付加し，担当教員の判断で実施することができるようになっている。

追加設問について

全学教育が掲げる教育目標の達成度を検証するため，教養科目（コアカリキュラム）を対象として，従来の授業アンケートの設問に加えてコアカリキュラムを担当する教員に実施を依頼した。

４つの追加設問（①コミュニケーション能力，②人間や社会の多様性の理解，③創造的な思考能力と建設的な批判能力，④社会的責任と普遍的な倫理観）の中から担当する授業内容に該当する設問を一つ以上指定し，学生にはその設問のみ回答させた。

３．各教員あて通知内容

集計表

フィードバック用の集計表では，各教員は，自分の授業の総合評点（主要設問について学生が回答した評点の合計を回答学生数（無回答を除く延べ数）で除したもの）で，全学教育平均・講義科目平均・演習科目平均・必修科目平均・選択科目平均と比較することになる。

また，通常の設問項目のほかに，その授業に固有の項目に関して教員個人が質問を設定した場合には，「追加設問」の欄に５段階の評点が表示される。

各 教 員 あ て 通 知 内 容

「平成29年度（第1学期及び第2学期通年分）全学教育科目に係る授業アンケート」集計表

部 局 名：文学研究科・文学部　　**氏　名**：●● ●●　　**科 目 名**：社会の認識（●●●●●●●●●●）

授業形態：講義　　**科目区分**：全学教育科目（主題別科目）　　**必修・選択**：選択　　**提出枚数**：31　　**登録学生数**：26～50人

設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点の平均値	全学教育平均値	講義科目平均値	演習科目平均値	必修科目平均値	選択科目平均値
1. シラバスは，授業の目標，内容，評価方法を明快に示していた。												
2. 授業はシラバスにそって行われていた。												
5. 教員の説明はわかりやすかった。												
6. 教員の熱意が伝わってきた。												
7. 教員の話し方は聞き取りやすかった。												
8. 教員は効果的に学生の参加（発言，自主的学習，作業など）を促した。												
9. 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。												
10. 黒板，教科書，プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。												
15. 授業により知的に刺激され，さらに深く勉強したくなった。												
16. 授業は全体として満足できるものであった。												
平均値 (%)							総合評点*					

＊総合評点：上欄の10個の設問項目について学生が回答した評点の合計を回答学生数（無回答を除く延べ数）で除したもの

設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点の平均値	全学教育平均値	講義科目平均値	演習科目平均値	必修科目平均値	選択科目平均値
3. 授業で要求される作業量（レポート，課題，予習・復習など）は適切であった。												
4. 授業内容の難易度は適切であった。												
11. この授業の自分の出席率は（　）%程度であった。												
12. 質問，発言，調査，自習などにより，自分はこの授業に積極的に参加した。												
13. この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は平均（　）であった。												

設問内容	10 (%)	9 (%)	8 (%)	7 (%)	6 (%)	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	0 (%)	無回答 (%)	10段階評点の平均値	全学教育平均値	講義科目平均値	演習科目平均値	必修科目平均値	選択科目平均値
14. シラバスに記載されている到達目標は，（　）割程度達成できた。																		

※ 評点については次のとおりとする。

① 設問1～3，5～10，12，15～16　：「5･4･3･2･1」は，「強くそう思う･そう思う･どちらともいえない･そうは思わない･強くそう思わない」を意味する。
② 設問4　：「5･4･3･2･1」は，「A:極めて難しい･B:難しい･C:適切･D:やさしい･E:極めてやさしい」を意味する。なお，平均値は「C→5･BD→3･AE→1」として算出。
③ 設問11　：「5･4･3･2･1」は，「A:100%･B:80%･C:60%･D:40%･E:20%」を意味する。
④ 設問13　：「5･4･3･2･1」は，「A:4時間以上･B:3時間･C:2時間･D:1時間･E:30分以下」を意味する。
⑤ 設問14　：「10･9･8･7･6･5･4･3･2･1･0」は，「10割･9割･8割･7割･6割･5割･4割･3割･2割･1割･0割」を意味する。

追加設問

設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点の平均値
1 コミュニケーション能力							
2 人間や社会の多様性の理解							
3 創造的な思考能力と建設的な批判能力							
4 社会的責任と普遍的な倫理観							
5							
6							
7							
8							

「5･4･3･2･1」は，「かなり向上した･少し向上した･どちらともいえない･あまり向上しなかった･向上しなかった」を意味する。

※設問及び回答の選択肢について，教員各自が設定している場合は空欄となっている。

４．アンケート用紙の様式

平成３０年６月　日

《部局名》
　《氏名》　殿

高等教育推進機構長　　長谷川　　晃

全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では，学生の意見を担当教員にフィードバックすることにより授業改善を図るため，全学教育科目に係る授業アンケートを行っております。

つきましては，平成３０年度第１学期分のアンケート用紙等を送付いたしますので，同封の実施要領を参照の上，下記の対象となる授業科目のうちいずれかの科目について，授業のなるべく終わりの時期，できれば最後の授業で実施してください。本アンケートは少なくとも１年間に１科目について，必ず実施してください。複数科目で実施しても構いません。

アンケート用紙が不足する場合や英語版のアンケート項目が必要な場合は別途送付しますので，下記担当まで連絡願います。

平成２８年度から，教養科目（コアカリキュラム，下記授業科目のうち科目名の前に「◎」のついている科目）で授業アンケートを行う場合は，通常の授業アンケートに加えて，「追加設問」を実施することとしておりますので，実施要領をよく確認し，学生に適切な指示を行ってください。

なお，アンケートの集計結果は，実施教員，所属部局等の長及び科目責任者に通知します。

また，アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて，報告書を提出していただくこととしており，提出された報告書の中から，授業改善への効果があると認められるものや他の教員の参考となる事例等を取りまとめ，後日，高等教育推進機構のホームページにて公表する予定です。

おって，平成３０年度第２学期実施分の授業アンケートの集計を行い，第１学期分のデータと併せた１年分の結果を送付する際に，報告書の提出についても，改めて依頼いたしますのでご協力願います。

平成２８年度の全学教育科目に係る授業アンケートの結果を受けての報告書は，高等教育推進機構のホームページ(http://educate.academic.hokudai.ac.jp/gakunai/enquete_gakunai/enquete_report28.pdf)に掲載しております。

記

対象となる授業科目（平成３０年度第１学期）

	時間割番号		科目名	曜日講時	
＜	678901		△△△演習	火２	＞
＜	234567		○○○○学Ⅰ	水１	＞
＜	890123	◎	＋＋＋＋学Ⅱ	水２	＞
＜	456789		＊＊＊＊＊	木４	＞

※ 封筒に入っている用紙類は下記のとおりです。
　① 授業アンケートの実施要領（教員用）･･･緑色
　② 授業アンケート提出票（教員用）･･････ピンク色　**※【教員が記入】**
　③ 授業アンケート（設問用紙）･････････黄色（50 枚）
授業アンケート（回答用紙）･････････白色（50 枚）

平成３０年１２月　　日

《所属》
　《氏名》　殿

高等教育推進機構長　　長谷川　　晃

Ｗｅｂによる全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では，学生の意見を担当教員にフィードバックすることにより授業改善を図るため，全学教育科目に係る授業アンケートを行っております。

この度，授業アンケートの実施・集計等に係る負担軽減のため，従来の紙媒体によるアンケートからＷｅｂによるアンケートへと変更することといたしました。

つきましては，平成３０年度第２学期分のＷｅｂによる全学教育科目に係る授業アンケートを，同封の実施要領を参照の上，下記の対象となる授業科目のうちいずれかの科目について，実施していただきたく，よろしくお願いいたします。

なお，アンケートの集計結果は，実施教員，所属部局等の長及び科目責任者に通知します。

また，平成３０年度１年間分の結果を送付する際に，報告書の提出についても改めて依頼いたしますのでご協力をお願いします。提出された報告書の中から，授業改善への効果があると認められるものや他の教員の参考となる事例等を取りまとめ，後日，高等教育推進機構のホームページにて公表する予定です。

おって，平成２９年度の全学教育科目に係る授業アンケートの結果を受けての報告書は，高等教育推進機構のホームページ（https://www.high.hokudai.ac.jp/center/enquete/enquete.htm）に掲載しておりますので，申し添えます。

記

《対象となる授業科目（平成３０年度第２学期）》

時間割番号	科目名	曜日講時
○○○○○	○○○○	○○○○
▲▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲
××××××	××××	××××

※１　今年度１学期授業アンケート実施の際に，20 科目（クラス）において、Ｗｅｂによる授業アンケートを試行した結果，特段の問題は見られなかったことから，第２学期授業アンケートから全科目にＷｅｂでの実施を導入することといたしました。

※２　Ｗｅｂ授業アンケートは，授業の終わりの時期，可能な限り最後の授業でＷｅｂ授業アンケートを実施してください。本アンケートは少なくとも教員１名につき，１年間に１科目について，必ず実施していただきますよう，よろしくお願いいたします。（アンケートは，複数科目で実施しても差し支えありません。）

（裏面へつづく）

※３　平成２８年度から，教養科目（コアカリキュラム：上記授業科目のうち科目名の前に「◎」のついている科目）で授業アンケートを行う場合は，通常の授業アンケートに加えて，「追加設問」を実施することとしておりますので，実施要領を確認の上，学生に適切な指示を行ってください。

※４　封筒に入っている用紙類は下記のとおりです。

①　授業アンケートの実施要領（教員用）・・・・・・・・・緑色

②　授業アンケート回答要領（学生用）・・・・・・・・・・・白色（50 枚）

授業アンケート回答要領（学生用）が不足する場合は別途送付しますので，下記担当まで連絡願います。

授業アンケート回答要領（学生用）　２学期

1．スマートフォンで「ELMS（エルムス）」にログインし、ポータルメニューから「Web履修登録システム」へ進むと、**「Web履修登録システム」**、**「学生アンケートシステム」**の選択画面**（図1）**が表示されますので、「**学生アンケートシステム**」へ進んでください。

2．学生アンケートシステム内の「**アンケート回答**」へ進んでください。

3．「一般アンケート」と「**授業アンケート**」が表示されます。

4．「**授業アンケート**」に、あなたが履修し、かつ今期WEB上で授業アンケートを実施する担当教員の授業一覧が表示されます**（図2）**ので、当該授業の「回答」へ進んでください。

5．回答後は、「**確認**」へ進み、内容を確認した後、「**送信**」を押すと回答が送信されます。

【図1】ELMSログイン後の画面

	開講学部	時間割コード	科目名	担当教員	開講期	曜日・講時		回答期限
1	全学教育	000095	一般教育演習(ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｾﾐﾅｰ) エネルギー問題ゲームの創作	教員太郎	2学期	木2	回答	2017/08/20 23:59
2	全学教育	000517	思索と言語	教員太郎	2学期	火1	回答	2017/08/20 23:59
3	全学教育	000569	歴史の視座	教員太郎	2学期	木1	回答	2017/08/20 23:59
4	全学教育	000658	社会の認識（合否制） こころの進化		2学期	水1	回答	2017/08/20 23:59
5	全学教育	001621	英語演習 中級：人間の社会行動に関する英語文献を読む	教員太郎	2学期	金1	回答	2017/08/20 23:59
6	全学教育	002046	体育学Ａ	教員太郎	2学期	月1	回答	2017/08/20 23:59

【図２】スマートフォン上の画面イメージ（例）

【注】

1．授業時間内にスマートフォンで回答できない方（スマートフォンを持っていない、忘れた、バッテリーがないなど）は、後で、スマートフォンあるいはPCから回答をお願いします。

2．追加設問は、担当教員の指示に従い回答してください。

3．授業時間内に入力できない場合は、当該学期の授業最終日までに入力してください。

【科目名】

【担当教員名】

（アンケートを後で回答する場合は，実施科目がわかるようにメモしてください。）

全学教育科目　授業アンケート提出票（教員用）１学期

（太線枠内を記入してください。）

【担当教員】　　北海道大学高等教育推進機構

所属部局コード番号	
職　　名	1 教授　2 准教授　3 講師　4 助教　5 非常勤講師
氏　　名	（フリガナ　　）

所属部局のコード番号を下表のコード表により記入してください。非常勤講師の方は「９９」を記入してください。

該当する番号に○印を付けてください。

【アンケートを実施した授業】

授業の形態	1 講義　2 演習　（該当する番号に○印を付けてください。）
科目区分	1 主題別科目　2 総合科目　3 一般教育演習 4 共通科目　5 外国語科目　6 外国語演習 7 基礎科目　8 日本語科目及び日本事情に関する科目
必修・選択	1 必修及び選択必修　2 選択　（該当する番号に○印を付けてください。）
科　目　名	
時間割番号	曜日講時
受講登録学生数	1 ２５人以下　2 ２６～５０人　3 ５１～１００人 4 １０１～２００人　5 ２０１人以上　（該当する番号に○印を付けてください。）

授業内容により，担当教員が判断してください。

該当する番号に○印を付けてください。

「授業アンケートの実施について（依頼）」に記載されている6桁の数字を記入してください。

【追加設問】

①教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問（□ 実施した）

1	追加設問１「コミュニケーション能力」
2	追加設問２「人間や社会の多様性の理解」
3	追加設問３「創造的な思考能力と建設的な批判能力」
4	追加設問４「社会的責任と普遍的な倫理観」

実施した場合は，□にチェックを入れ，学生に対し，回答するよう指示した追加設問の番号に○印を付けてください。

②独自に設定した追加設問（□ 実施した（　　問））

実施した場合は，□にチェックを入れ，設問の数（1～4）を記入してください。

【部局コード番号】

番号：部局名	番号：部局名	番号：部局名
01:文学研究科	17:歯学研究院	33:アイヌ・先住民研究センター
02:法学研究科	18:公共政策学連携研究部	34:社会科学実験研究センター
03:情報科学研究科	19:北海道大学病院	35:環境健康科学研究教育センター
04:教育学研究院	20:低温科学研究所	36:北極域研究センター
05:経済学研究院	21:電子科学研究所	37:サステイナビリティ学教育研究センター
06:メディア・コミュニケーション研究院	22:遺伝子病制御研究所	38:保健センター
07:理学研究院	23:触媒科学研究所	39:埋蔵文化財調査センター
08:地球環境科学研究院	24:スラブ・ユーラシア研究センター	40:人材育成本部
09:先端生命科学研究院	25:情報基盤センター	41:創成研究機構
10:工学研究院	26:アイソトープ総合センター	42:国際連携機構
11:農学研究院	27:量子集積エレクトロニクス研究センター	43:高等教育推進機構
12:水産科学研究院	28:総合博物館	44:安全衛生本部
13:獣医学研究院	29:北方生物圏フィールド科学センター	45:産学・地域協働推進機構
14:薬学研究院	30:人獣共通感染症リサーチセンター	46:国際連携研究教育局
15:保健科学研究院	31:大学文書館	47:その他
16:医学研究院	32:観光学高等研究センター	99:非常勤講師

※　研究科・研究院の附属施設に所属する教員は，研究科・研究院のコード番号を記載してください。

アンケート名	全学教育科目　授業アンケート（平成30年度第2学期），General Education Course Evaluation Survey (2018, 2nd semester-Intensive courses)
説明	このアンケートは、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされますので、率直で建設的な回答をお願いします。アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありません。 　１６の設問とコアカリキュラムに関する追加設問があります。自由記述欄もありますので、この授業やアンケートに対する意見を述べてください。アンケート回答後は、「送信」を押して終了してください。 　The purpose of this survey is to improve classes. Your opinion will be used to help improve future classes so please give frank and constructive answers. You will not be disadvantaged in any way as a result of answering this survey. 　There are 16 questions, additional questions below and space on the back for you to express your opinions.
回答期間	2019/02/07～2019/03/31
時間割番号	
科目名	
担当教員	
曜日・講時	

この授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。それぞれについて、該当するものを１つ選んでください。　Select the description that most likely corresponds to your observation.

Q1　シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。
The syllabus clearly explained the course objectives, contents and grading system.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don’t think so
○強くそう思わない　／　I really don’t think so

Q2　授業はシラバスに沿って行われていた。
The lessons followed the syllabus.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don’t think so
○強くそう思わない　／　I really don’t think so

Q3　授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。
The amount of work required by this course was appropriate.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don’t think so
○強くそう思わない　／　I really don’t think so

Q4　授業内容の難易度は適切であった。
How difficult was the course:

○極めて難しい　／　Very Difficult
○難しい　／　Difficult
○適切　／　Appropriate
○やさしい　／　Easy
○極めてやさしい　／　Very Easy

Q5　教員の説明はわかりやすかった。
The teacher's explanations were easy to understand.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q6　教員の熱意が伝わってきた。
The teacher conveyed enthusiasm.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q7　教員の話し方は聞き取りやすかった。
The teacher's way of talking was easy to understand.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q8　教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。
The teacher was effective in encouraging student participation (e.g. speaking, assignments, self-study).

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q9　教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。
The teacher responded appropriately to comments and questions from students.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q10　黒板、教科書、プリントやＡＶ機器等の使われ方が効果的であった。
The teacher's use of the blackboard, the projector, textbooks, prints etc. was effective.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q11　この授業の自分の出席率は（　）%程度であった。
My attendance rate was:

○100
○80
○60
○40
○20

Q12　質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。
I tried to actively participate with questions, comments, self-study, assignments etc.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don't think so
○強くそう思わない　／　I really don't think so

Q13　この授業１回（９０分）のための予習・復習に費やした時間は平均（　）であった。
The average amount of time I spent on pre-study and reviewing for one 90 minute class was:

○４時間以上　／　Over 4 hours
○３時間　／　3 hours
○２時間　／　2 hours
○１時間　／　1 hour
○３０分以下　／　30 minutes or less

Q14　シラバスに記載されている到達目標は、（　）割程度達成できた。
Out of 10, to what extent did the course achieve the aim stated in the syllabus? Please write a number from 0 to 10.

○10
○9
○8
○7
○6
○5
○4
○3
○2
○1
○0

Q15　授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。
The classes stimulated me intellectually and made me want to study more.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so

○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don’t think so
○強くそう思わない　／　I really don’t think so

Q16　授業は全体として満足できるものであった。
I was satisfied with the overall course.

○強くそう思う　／　I strongly think so
○そう思う　／　I think so
○どちらともいえない　／　I cannot say either way
○そうは思わない　／　I don’t think so
○強くそう思わない　／　I really don’t think so

教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問 （基礎科目は含まない。）【授業担当教員から指示があった場合に、指示のあった設問にのみ回答してください。】　Additional questions on liberal arts course subjects (core curriculum) [excluding foundation course subjects] 【Answer only questions selected by your class instructor and follow guidance】

◎この授業を受講して、下記の「追加設問１～４」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか。該当するものを１つ選んでください。　Do you think you have improved your competence, understanding and awareness in the areas described in the following questions through the classes you attended? Select the description that most likely corresponds to your observation.

Q17　【追加設問１：コミュニケーション能力】　人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。
【Additional Question 1: Communication skills】
I make a correct interpretation of the phenomena related to human and society as well as natural phenomena mainly by using language. I can also accurately portray my own thoughts using language skills, and exchange ideas with others.

○かなり向上した　／　Significantly improved
○少し向上した　／　Somewhat improved
○どちらともいえない　／　Cannot say either way
○あまり向上しなかった　／　Not so improved
○向上しなかった　／　Not at all improved

Q18　【追加設問２：人間や社会の多様性の理解】　各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。
【Additional Question 2: Understanding the diversity of human and society】
I have experienced the width and the depth of specialized fields through interdisciplinary lectures delivered by experts of their fields. It has made me become positive to broaden my perspective in other academic areas other than my interests.

○かなり向上した　／　Significantly improved
○少し向上した　／　Somewhat improved
○どちらともいえない　／　Cannot say either way
○あまり向上しなかった　／　Not so improved
○向上しなかった　／　Not at all improved

Q19　【追加設問３：創造的な思考能力と建設的な批判的能力】　根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。
【Additional Question 3: Ability to think creatively and criticize constructively】
Through learning and practicing what the evidence-based deduction is, how to solve contradiction, and how to make a right and impartial decision, I have developed an understanding and an ability of creative and critical attitude.

○かなり向上した　／　Significantly improved
○少し向上した　／　Somewhat improved
○どちらともいえない　／　Cannot say either way
○あまり向上しなかった　／　Not so improved
○向上しなかった　／　Not at all improved

Q20　【追加設問４：社会的責任と普遍的な倫理観】　制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。
【Additional question 4: Social responsibility and universal ethical perspective】
Through examining case studies, I put myself to think universal ethics as a human being or a citizen in the society with highly developed institutions and science & technology.

○かなり向上した　／　Significantly improved
○少し向上した　／　Somewhat improved
○どちらともいえない　／　Cannot say either way
○あまり向上しなかった　／　Not so improved
○向上しなかった　／　Not at all improved

Q21　【追加設問５】　Additional question 5

○ 5
○ 4
○ 3
○ 2
○ 1

Q22　【追加設問６】　Additional question 6

○ 5
○ 4
○ 3
○ 2
○ 1

Q23　【追加設問７】　Additional question 7

○ 5
○ 4
○ 3
○ 2
○ 1

Q24　【追加設問８】　Additional question 8

○ 5
○ 4
○ 3
○ 2
○ 1

Q25　この授業で良かったと思う点について書いてください。
What did you like about the course?（2000字以内）

Q26　この授業で改善した方が良いと思う点について書いてください。
In what ways do you think the course should be improved? （2000字以内）

Q27　その他、気づいたことがありましたら書いてください。
Feel free to write any other comments. （2000字以内）

Q28　授業アンケートの実施方法や設問内容などについて、意見がありましたら書いてください。
Write down if you have any other opinions about the way of conducting this survey, questions or so. （2000字以内）

閉じる

全学教育科目　授業アンケート（設問用紙，平成 30 年度第 1 学期）

北海道大学高等教育推進機構

このアンケートは，授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされますので，率直で建設的な回答をお願いします。アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありません。

16の設問とコアカリキュラムに関する追加設問があります。**回答は，別添の回答用紙**に記入してください。**自由記述欄**もありますので，この授業やアンケートに対する意見を述べてください。アンケート記入後は，授業担当教員の指示に従って提出願います。

◎この授業（講義・演習）について，以下の各設問に対してどう考えますか。それぞれについて，該当するものを1つ選んで数字又はアルファベットに〇を付けてください。

評点は，　**５ ： 強くそう思う**
４ ： そう思う
３ ： どちらともいえない
２ ： そうは思わない
１ ： 強くそう思わない
の順とします。ただし，設問の4，11，13，14については，各設問に「　」書きで付記している評点基準とします。

設問1　シラバスは，授業の目標，内容，評価方法を明快に示していた。

設問2　授業はシラバスに沿って行われていた。

設問3　授業で要求される作業量（レポート，課題，予習・復習など）は適切であった。

設問4　授業内容の難易度は適切であった。
「A:極めて難しい，B:難しい，C:適切，D:やさしい，E:極めてやさしい」

設問5　教員の説明はわかりやすかった。

設問6　教員の熱意が伝わってきた。

設問7　教員の話し方は聞き取りやすかった。

設問8　教員は効果的に学生の参加（発言，自主的学習，作業など）を促した。

設問9　教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。

設問 10　黒板，教科書，プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。

設問 11　この授業の自分の出席率は（　）％程度であった。
「A:100，B: 80，C: 60，D:40，E:20」

設問 12　質問，発言，調査，自習などにより，自分はこの授業に積極的に参加した。

設問 13　この授業1回(90 分)のための予習・復習に費やした時間は平均（　）であった。
「A:4時間以上，B:3時間，C:2時間，D:1時間，E:30 分以下」

設問 14　シラバスに記載されている到達目標は，（　）割程度達成できた。
「回答欄に0～10 の数値を記入してください」

設問 15　授業により知的に刺激され，さらに深く勉強したくなった。

設問 16　授業は全体として満足できるものであった。

教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問（基礎科目は含まない。）

（授業担当教員から指示があった場合に，指示のあった設問にのみ回答してください。）

◎この授業を受講して，下記の「追加設問1～4」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか。該当するものを1つ選んで数字に〇を付けてください。

評点は，
５ ： かなり向上した
４ ： 少し向上した
３ ： どちらともいえない
２ ： あまり向上しなかった
１ ： 向上しなかった
の順とします。

・追加設問１ ： コミュニケーション能力
人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること，自分の考えを的確に言語的に表現できること，相互にアイデアを交換できること。

・追加設問２ ： 人間や社会の多様性の理解
各学問分野の専門家が，専門の壁を越えて行う授業を通して，それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに，自分が志望する専門以外の分野についても，積極的に視野を広げること。

・追加設問３ ： 創造的な思考能力と建設的な批判的能力
根拠にもとづく推論とは何か，矛盾をどのように解決するか，公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって，独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。

・追加設問４ ： 社会的責任と普遍的な倫理観
制度や科学技術が高度に発達した社会において，人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について，具体的な事例の検討を通じて考えること。

全学教育科目　授業アンケート（回答用紙）　1学期

北海道大学高等教育推進機構

評点は，「５：強くそう思う，４：そう思う，３：どちらともいえない，２：そうは思わない，１：強くそう思わない」の順とします。
該当するものを1つ選んで数字又はアルファベットに〇を付けてください。
ただし，設問の4，11，13，14については，各設問に「　」書きで付記している評点基準とします。

設問1	5	4	3	2	1
設問2	5	4	3	2	1
設問3	5	4	3	2	1
設問4	A	B	C	D	E
設問5	5	4	3	2	1
設問6	5	4	3	2	1
設問7	5	4	3	2	1
設問8	5	4	3	2	1

設問9	5	4	3	2	1
設問10	5	4	3	2	1
設問11	A	B	C	D	E
設問12	5	4	3	2	1
設問13	A	B	C	D	E
設問14					
設問15	5	4	3	2	1
設問16	5	4	3	2	1

追加設問回答欄

教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問（教員から指示があった場合のみ回答してください。）

評点は，
５：かなり向上した
４：少し向上した
３：どちらともいえない
２：あまり向上しなかった
１：向上しなかった
の順とします。
該当するものを1つ選んで数字に〇を付けてください。

追加設問1	5	4	3	2	1
追加設問2	5	4	3	2	1
追加設問3	5	4	3	2	1
追加設問4	5	4	3	2	1

追加設問5	5	4	3	2	1
追加設問6	5	4	3	2	1
追加設問7	5	4	3	2	1
追加設問8	5	4	3	2	1

※裏面に自由記述欄を設けていますのでこの授業やアンケートに対する意見を書いてください。（裏面に続く）

自 由 記 述 欄

この授業で良かったと思う点について書いてください。

この授業で改善した方が良いと思う点について書いてください。

その他，気づいたことがありましたら書いてください。

授業アンケートの実施方法や設問内容などについて，意見がありましたら書いてください。

ご協力ありがとうございました。

平成３０年度（第１学期）
全学教育科目　授業アンケート回収用封筒

【受講生の代表の方へ】
このアンケート調査は本学の授業を改善するために毎年行っているものです。
より公正な取扱いを行うため，アンケートの回収等は学生の皆さん自身に行っていただいています。
お手数をおかけしますが，よろしくご協力をお願いします。

アンケートの回収方法

１．当封筒に，ピンク色の「授業アンケート提出票（教員用）」が入っていることを確認してください。（入っていない場合は教員に確認してください。）

２．受講生から，記入の終わったアンケート用紙（回答用紙）を回収し，当封筒に入れ密封してください。

３．当封筒を，下記のいずれかの窓口に提出してください。
① 学務部教育推進課（全学教育・総合教育担当）（高等教育推進機構Ｅ棟１階８番窓口）
② 各学部・研究所等の教務担当
※ ５講時の終了時には，上記の窓口が閉まっている場合がありますので，その場合の提出方法については教員の指示を受けてください。

【問い合わせ先】学務部学務企画課総務担当（教育支援）　TEL：011-706-5567

（学内便）

㊶ 学務部学務企画課総務担当（教育支援）行

授業担当教員記入欄（必ずご記入ください）

所属部局名 (School / Institution)	
氏　　名 (Name)	
科　目　名 (Course Title)	

５．調査対象の解析

アンケートの依頼・実施者数（平成３０年度）

部局等名 （授業を担当する教員がいる部局）	教員数 （H30.5.1）	担当 教員数	実施 教員数	実施 授業数	実施率 （実施教員数/ 担当教員数）	回収率 （実施授業数/ 担当教員数）
文学研究科・文学部	85	82 (2)	59	68	71.95%	82.93%
法学研究科・法学部	57	21	15	15	71.43%	71.43%
経済学研究科・経済学部	44	27	24	25	88.89%	92.59%
医学院・医学研究院・医学部	152	8	8	10	100.00%	125.00%
歯学院・歯学研究院・歯学部	81	8	7	7	87.50%	87.50%
獣医学院・獣医学研究院・獣医学部	47	8	7	7	87.50%	87.50%
情報科学研究科	93	24	19	19	79.17%	79.17%
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	80	7	7	10	100.00%	142.86%
環境科学院・地球環境科学研究院	52	25 (1)	25	31	100.00%	124.00%
理学院・理学研究院・理学部	197	125 (4)	107	134	85.60%	107.20%
薬学研究院・薬学部	51	10	10	10	100.00%	100.00%
農学院・農学研究院・農学部	127	18 (1)	13	13	72.22%	72.22%
生命科学院・先端生命科学研究院	24	7 (1)	7	7	100.00%	100.00%
教育学院・教育学研究院・教育学部	39	15	15	16	100.00%	106.67%
メディア・コミュニケーション研究院	57	59 (11)	46	167	77.97%	283.05%
保健科学院・保健科学研究院	74	7 (1)	7	7	100.00%	100.00%
工学院・工学研究院・工学部	275	44 (1)	35	37	79.55%	84.09%
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	20	8	8	8	100.00%	100.00%
低温科学研究所	47	5	5	5	100.00%	100.00%
電子科学研究所	48	15 (2)	15	15	100.00%	100.00%
遺伝子病制御研究所	27	5	4	4	80.00%	80.00%
触媒科学研究所	21	4	4	4	100.00%	100.00%
スラブ・ユーラシア研究センター	15	2	1	1	50.00%	50.00%
情報基盤センター	15	5	4	4	80.00%	80.00%
人獣共通感染症リサーチセンター	14	1	1	1	100.00%	100.00%
アイソトープ総合センター	3	1	1	1	100.00%	100.00%
北方生物圏フィールド科学センター	42	11	5	5	45.45%	45.45%
観光学高等研究センター	5	3	1	1	33.33%	33.33%
アイヌ・先住民研究センター	8	3	2	3	66.67%	100.00%
総合博物館	9	3 (1)	3	3	100.00%	100.00%
保健センター	3	1	1	1	100.00%	100.00%
人材育成本部		1 (1)	1	1	100.00%	100.00%
総合IR室		1 (1)	1	1	100.00%	100.00%
学生相談総合センター		1	1	1	100.00%	100.00%
高等教育推進機構	10	28 (5)	20	36	71.43%	128.57%
本学教員小計	1,822	593 (32)	489	678	82.46%	114.33%
非常勤講師小計	108	108	79	128	73.15%	118.52%
合　計	1,930	701 (32)	568	806	81.03%	114.98%

※　教員数は，平成３０年５月１日現在の在籍数。
※　担当教員数のかっこ内は，特任教員数で内数。また，非常勤講師は，平成３０年度に全学教育科目の授業を担当した実数。
※　担当教員数（全学教育科目授業を担当した教員）及び実施教員数（授業アンケートを提出した教員）は実数。授業アンケート実施後に所属を異動した場合でも，授業アンケート実施当時の所属でカウント。
※　回収率は，授業数（同一教員が複数の授業についてアンケートを実施した場合を含む）を担当教員数で除したもので，担当教員あたりの延べ実施率。

（参考）平成２９年度実績

部局等名 （授業を担当する 教員がいる部局）	教員数 （H29.5.1）	担当 教員数	実施 教員数	実施 授業数	実施率 （実施教員数/ 担当教員数）	回収率 （実施授業数/ 担当教員数）
本学教員小計	1,873	601 (40)	494	694	82.20%	115.47%
非常勤講師小計	97	91	77	118	84.62%	129.67%
合　計	1,970	692 (40)	571	812	82.51%	117.34%

６．アンケート結果と解析

授業の総合評価

総合評点は，設問 1～2，5～10，15～16 の選択肢を評点とし，平均したものである。また，アンケート対象を全学教育科目に絞り，科目を「外国語」「講義科目」「演習科目」「必修科目」「選択科目」に分類した。その結果，総合評点は，以下のようになった。なお，表中では 1 学期を「前」，2 学期を「後」と表記している。

	25 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	4.03	4.04	4.04	3.95	4.12	4.11
外　国　語	4.30	4.29	4.28	4.18	4.39	4.36
講 義 科 目	3.98	3.98	3.98	3.88	4.05	4.04
演 習 科 目	4.34	4.38	4.36	4.29	4.47	4.46
必 修 科 目	3.97	3.92	3.93	3.82	3.99	4.03
選 択 科 目	4.10	4.18	4.15	4.07	4.24	4.15

※図および表中の数値について

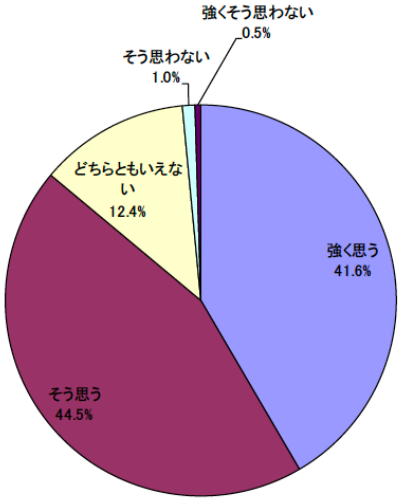
図および表中の数値は最小桁についての四捨五入で表している。このため，表示桁数の違いで値が異なることや，個々のデータの和が合計値と異なることがある。

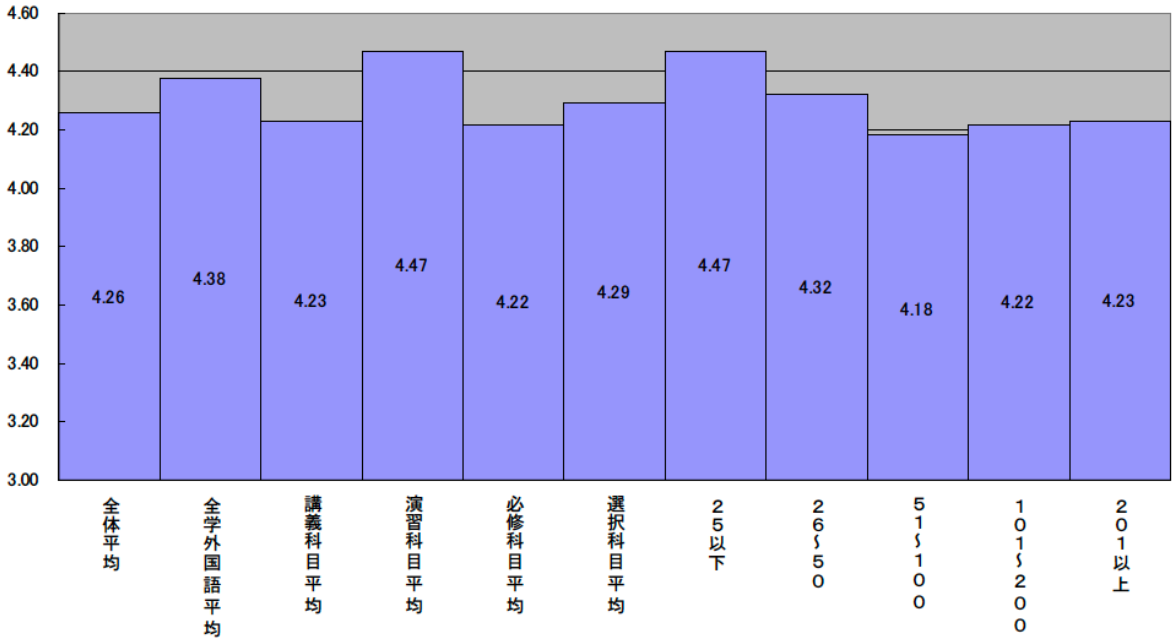
A　授業内容に関する項目

設問１　シラバスは，授業の目標，内容，評価方法を明快に示していた。

円グラフ：今年度（平成 26 年度 1 学期と 2 学期）の回答比率(無回答を除く)を表す（以下各設問同様）。
棒グラフ：この設問について，各分類における評点の平均値を表す（以下各設問同様）。

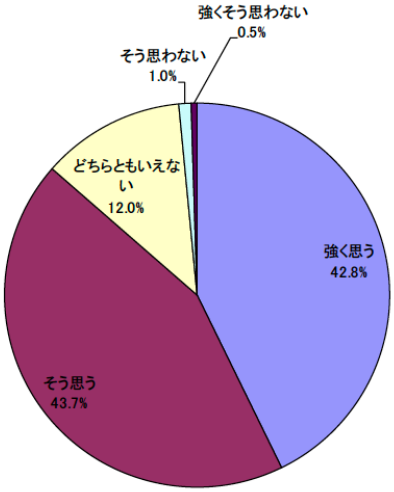
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	81.6%	81.8%	78.5%	84.0%	86.1%	2.2%	2.0%	5.8%	1.8%	1.4%
外　国　語	86.8%	86.5%	82.7%	89.6%	90.5%	1.4%	1.3%	4.5%	1.1%	0.8%
講 義 科 目	80.2%	80.6%	77.2%	82.7%	85.0%	2.4%	2.2%	6.1%	2.0%	1.5%
演 習 科 目	89.3%	87.7%	84.7%	91.0%	92.5%	1.3%	1.2%	4.6%	1.0%	0.7%
必 修 科 目	77.5%	78.7%	75.0%	81.0%	83.0%	2.9%	2.1%	6.0%	2.1%	1.6%
選 択 科 目	86.0%	85.0%	81.9%	87.1%	88.2%	1.5%	1.9%	5.7%	1.6%	1.3%

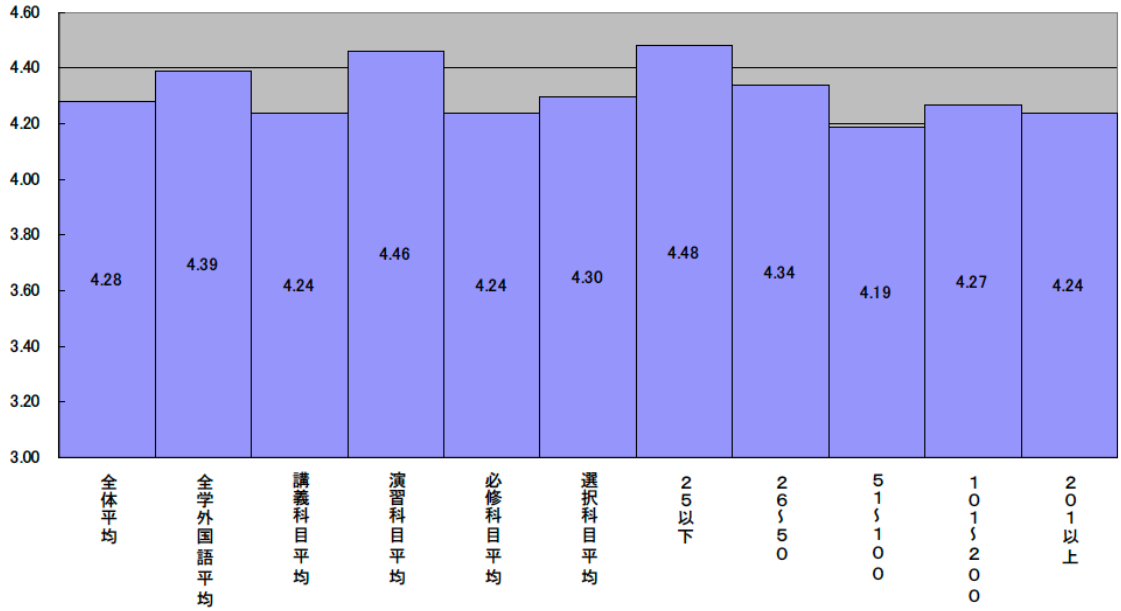




設問２　授業はシラバスにそって行われていた。

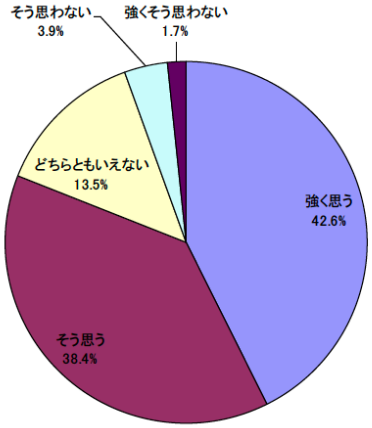
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	81.7%	82.1%	79.1%	83.9%	86.5%	2.3%	2.1%	5.7%	2.0%	1.5%
外　国　語	87.4%	86.3%	83.3%	89.3%	90.6%	1.1%	1.5%	4.7%	1.2%	0.9%
講 義 科 目	80.2%	81.0%	77.7%	82.6%	85.5%	2.5%	2.2%	6.0%	2.1%	1.6%
演 習 科 目	89.6%	87.6%	85.4%	90.8%	91.9%	1.1%	1.5%	4.7%	1.3%	0.9%
必 修 科 目	78.0%	79.4%	75.8%	80.6%	83.5%	3.0%	2.4%	5.9%	2.3%	1.5%
選 択 科 目	85.5%	85.0%	82.3%	87.2%	88.4%	1.5%	1.8%	5.6%	1.7%	1.5%

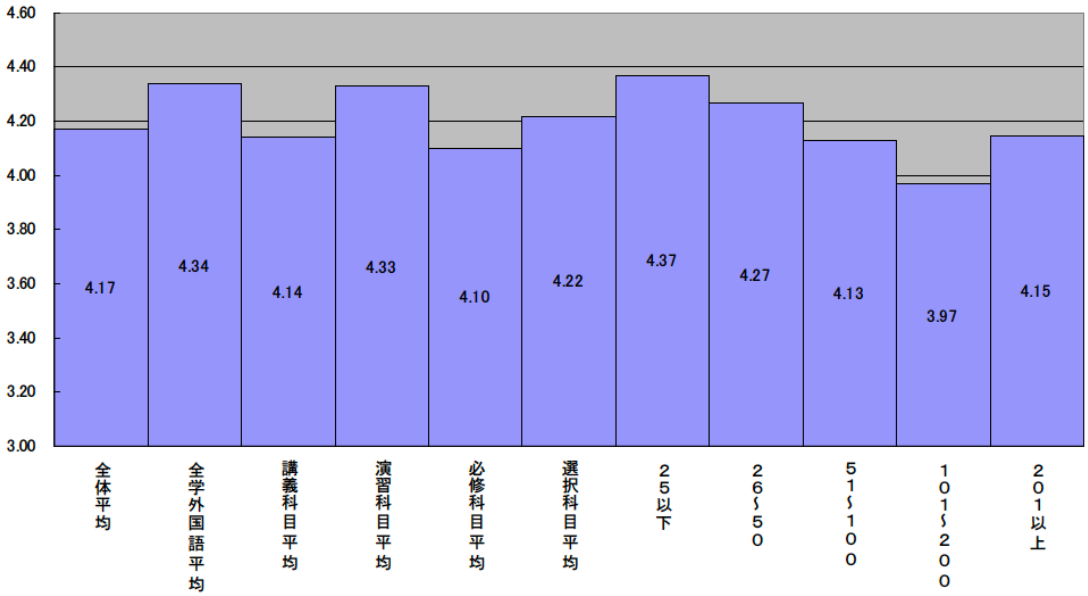




設問３　授業で要求される作業量（レポート，宿題，自習など）は適切であった。

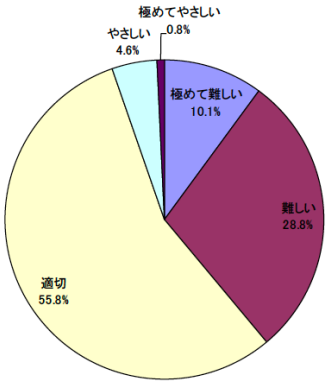
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	75.2%	76.0%	74.6%	77.6%	81.2%	5.9%	5.3%	9.1%	5.8%	5.4%
外　国　語	82.3%	83.5%	80.8%	84.8%	87.6%	4.3%	3.5%	7.6%	4.1%	3.2%
講 義 科 目	74.4%	75.2%	73.6%	76.7%	80.4%	5.8%	5.0%	9.1%	5.5%	5.5%
演 習 科 目	79.9%	79.7%	79.2%	82.3%	85.4%	6.3%	6.9%	8.8%	7.2%	4.9%
必 修 科 目	71.7%	72.7%	71.5%	73.8%	77.8%	8.0%	7.0%	10.8%	7.9%	7.6%
選 択 科 目	78.9%	79.3%	77.5%	81.3%	83.4%	3.7%	3.6%	7.5%	3.7%	3.9%



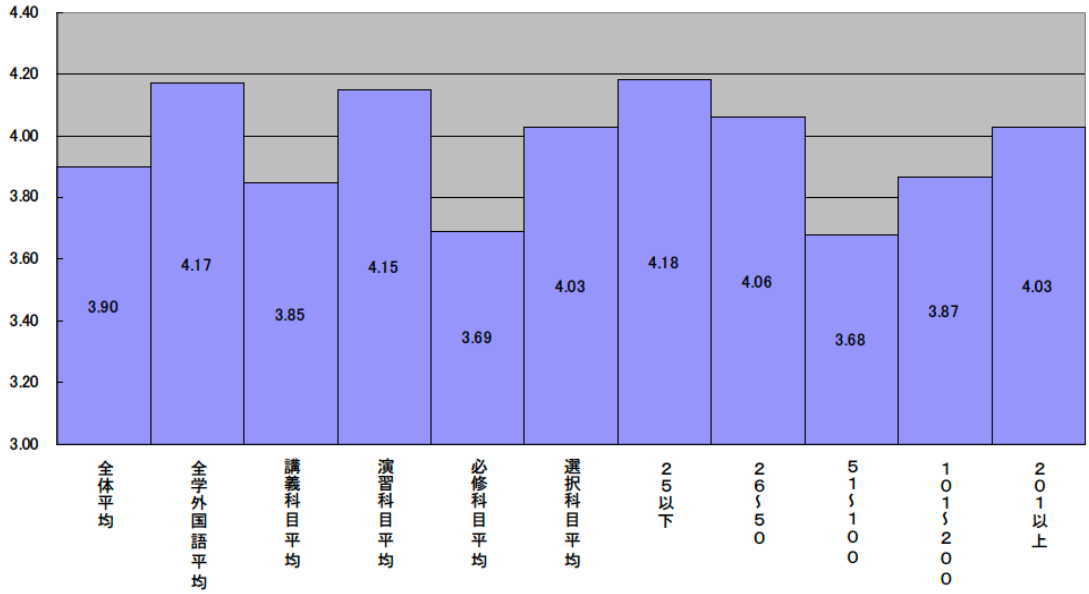


設問４　授業内容の難易度は適切であった。

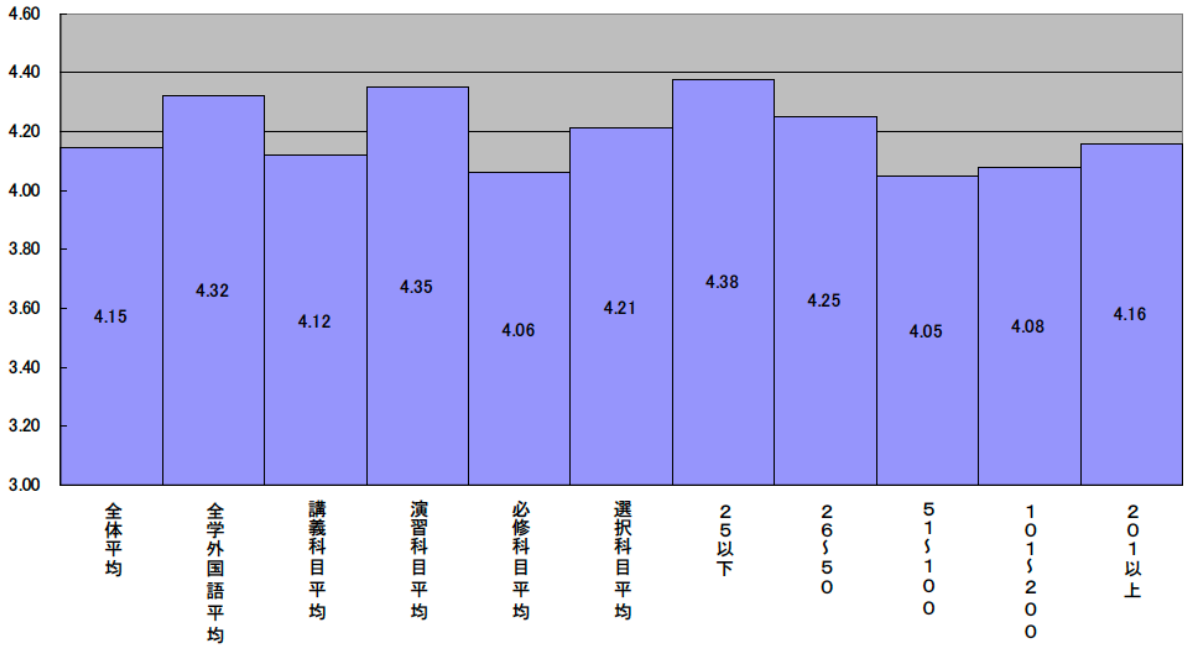
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
極めて難しい	10.8%	11.1%	7.2%	11.8%	10.1%
難しい	30.7%	30.2%	24.1%	29.4%	28.9%
適切	53.0%	53.4%	59.8%	53.8%	55.7%
やさしい	4.7%	4.5%	6.9%	4.2%	4.6%
極めてやさしい	0.9%	0.9%	2.0%	0.9%	0.8%



	極めてやさしい＋極めて難しい（評点ＡとＥの合計）					やさしい＋難しい（評点ＢとＤの合計）					適切（評点Ｃ）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	11.7%	12.0%	9.2%	12.7%	10.8%	35.3%	34.6%	31.0%	33.5%	33.5%	53.0%	53.4%	59.8%	53.8%	55.7%
外国語	7.1%	7.4%	5.9%	7.6%	6.6%	30.9%	30.9%	27.4%	28.8%	28.2%	62.0%	61.7%	66.7%	63.6%	65.2%
講義科目	12.4%	12.7%	10.0%	13.6%	11.6%	35.8%	35.1%	31.9%	34.5%	34.2%	51.8%	52.2%	58.1%	52.0%	54.2%
演習科目	7.7%	8.3%	5.6%	8.1%	6.7%	32.7%	32.3%	26.7%	28.3%	29.2%	59.6%	59.4%	67.7%	63.6%	64.1%
必修科目	14.2%	14.8%	12.0%	16.1%	14.4%	38.5%	37.9%	35.0%	38.0%	36.7%	47.3%	47.3%	53.1%	45.9%	49.0%
選択科目	9.0%	9.1%	6.7%	9.3%	8.5%	32.0%	31.3%	27.1%	29.2%	31.4%	59.0%	59.7%	66.2%	61.5%	60.2%



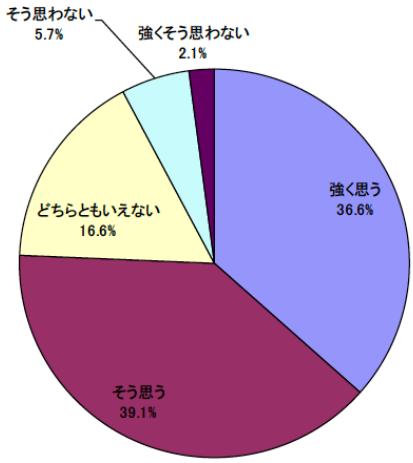
【設問１～４の合計】

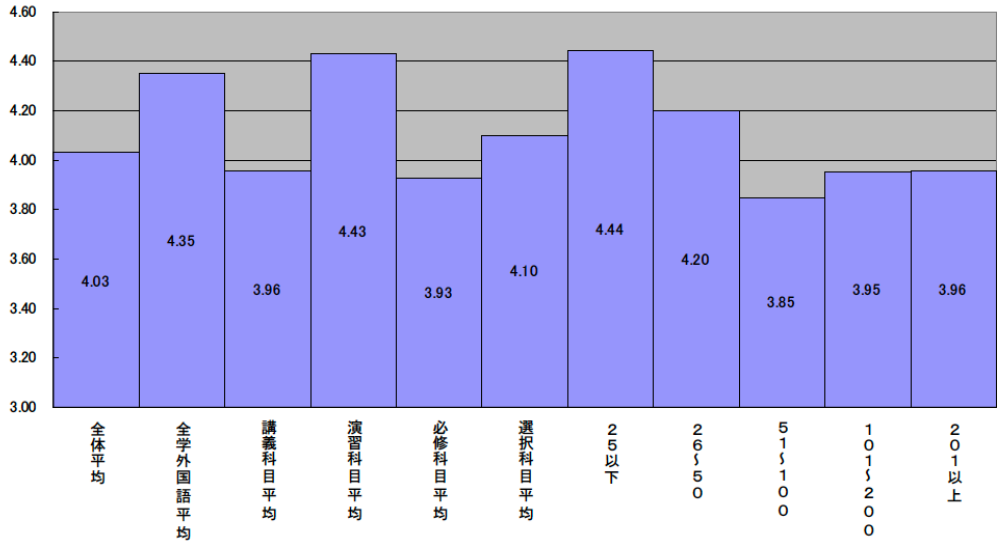

4.60
4.40
4.20
4.00
3.80
3.60
3.40
3.20
3.00
4.15
4.32
4.12
4.35
4.06
4.21
4.38
4.25
4.05
4.08
4.16
全体平均
全学外国語平均
講義科目平均
演習科目平均
必修科目平均
選択科目平均
２５以下
２６～５０
５１～１００
１０１～２００
２０１以上

B　授業手法，教員の行動

設問５　教員の説明はわかりやすかった。

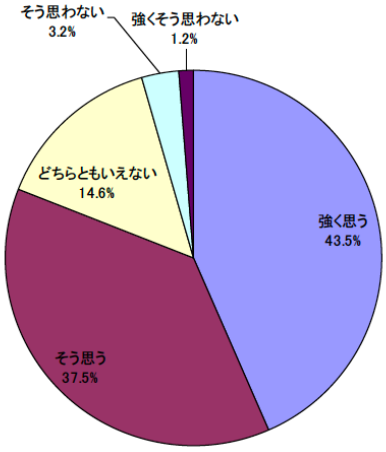
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	72.8%	72.1%	68.2%	74.4%	75.9%	7.8%	7.5%	11.9%	7.7%	7.7%
外　国　語	83.7%	83.2%	79.0%	86.3%	88.1%	3.8%	3.4%	7.6%	2.8%	2.8%
講 義 科 目	70.3%	69.4%	65.0%	71.6%	73.4%	8.8%	8.4%	13.1%	8.7%	8.6%
演 習 科 目	86.4%	85.1%	83.0%	89.5%	90.2%	2.4%	2.8%	6.2%	1.9%	2.1%
必 修 科 目	67.0%	67.3%	62.1%	68.0%	71.0%	11.2%	10.1%	14.8%	11.2%	10.5%
選 択 科 目	78.8%	77.0%	74.0%	80.7%	79.1%	4.2%	4.8%	9.1%	4.2%	5.7%

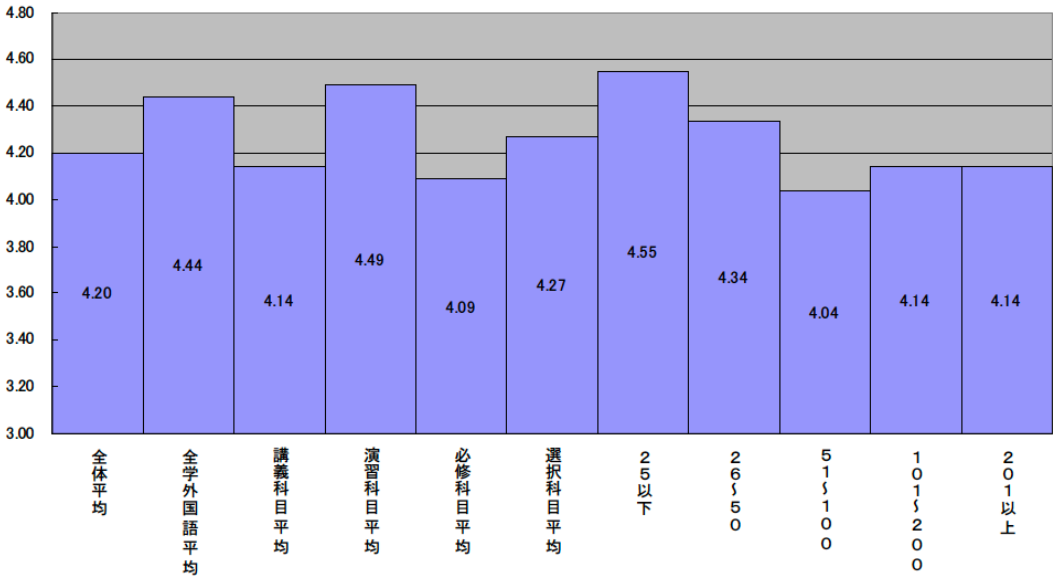




設問６　教員の熱意が伝わってきた。

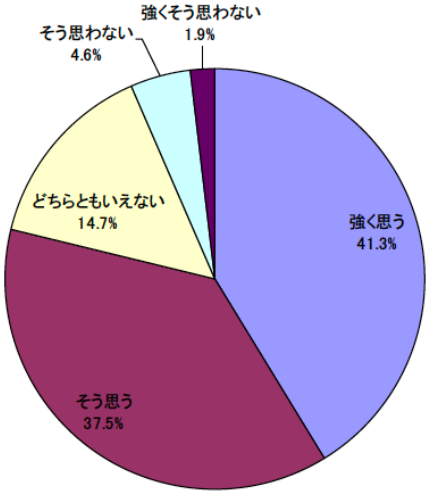
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	76.3%	76.3%	73.5%	78.8%	81.3%	5.3%	4.9%	8.5%	4.4%	4.3%
外　国　語	86.0%	85.6%	82.4%	88.4%	90.2%	2.3%	2.4%	5.6%	1.4%	1.6%
講 義 科 目	74.5%	74.3%	71.1%	76.7%	79.5%	5.9%	5.4%	9.1%	4.9%	4.8%
演 習 科 目	86.6%	85.8%	84.8%	90.0%	91.1%	2.0%	2.2%	5.3%	1.6%	1.6%
必 修 科 目	70.7%	71.6%	67.9%	73.2%	75.8%	7.9%	6.7%	10.4%	6.3%	6.4%
選 択 科 目	82.2%	81.1%	78.8%	84.3%	84.8%	2.5%	3.0%	6.7%	2.5%	3.0%

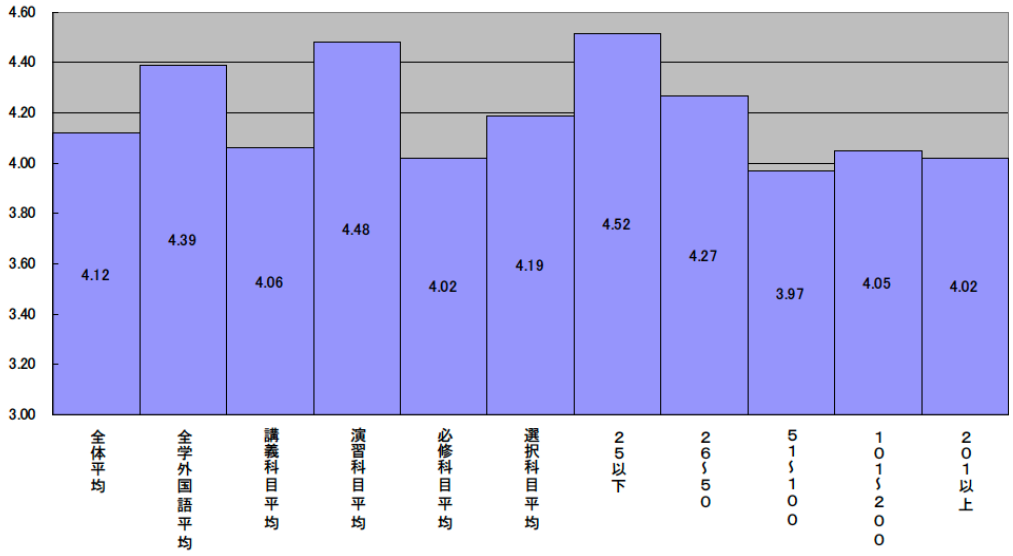




設問７　教員の話し方は聞き取りやすかった。

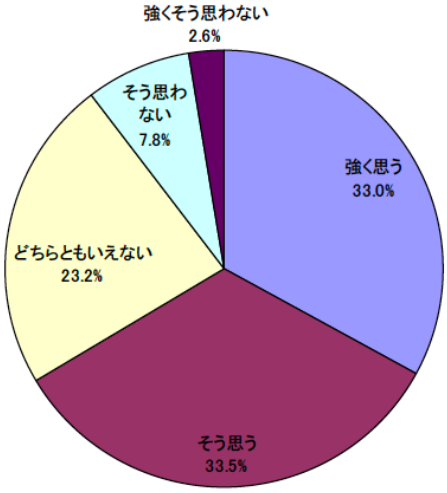
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	76.3%	74.4%	72.6%	77.7%	79.0%	5.3%	7.0%	10.0%	6.1%	6.5%
外　国　語	86.0%	84.7%	80.5%	87.7%	89.0%	2.3%	3.5%	7.3%	2.8%	2.5%
講　義　科　目	74.5%	71.9%	69.9%	75.2%	76.9%	5.9%	7.9%	11.0%	7.0%	7.3%
演　習　科　目	86.6%	86.5%	85.1%	91.2%	91.0%	2.0%	2.4%	5.6%	1.3%	1.9%
必　修　科　目	70.7%	69.5%	67.5%	72.2%	74.0%	7.9%	9.7%	12.6%	9.0%	9.4%
選　択　科　目	82.2%	79.4%	77.4%	83.1%	82.3%	2.5%	4.2%	7.6%	3.1%	4.5%

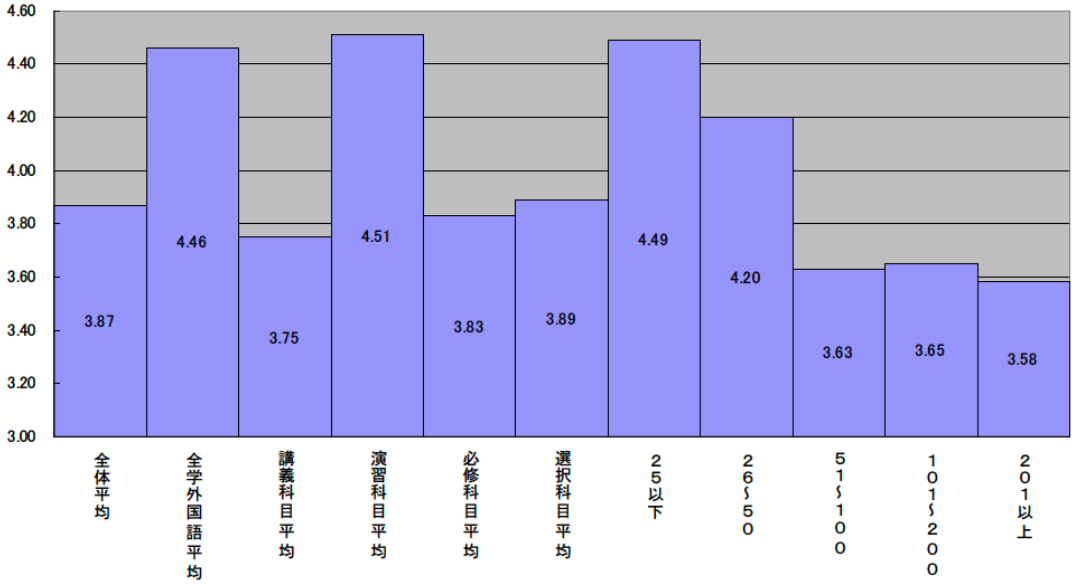




設問８　教員は効果的に学生の参加（発言，自主的学習，作業など）を促した。

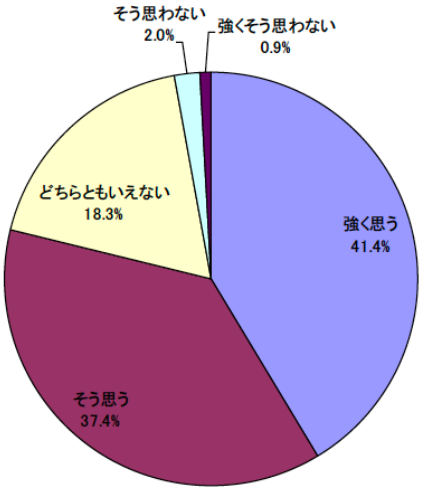
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	63.2%	62.6%	61.1%	65.1%	66.4%	10.9%	11.0%	13.3%	9.7%	10.4%
外　国　語	86.9%	85.2%	83.5%	89.7%	90.8%	2.4%	2.4%	5.9%	1.5%	1.4%
講 義 科 目	59.0%	57.9%	55.9%	60.7%	62.1%	12.5%	12.8%	15.0%	11.1%	11.9%
演 習 科 目	86.5%	86.0%	85.5%	89.0%	90.9%	2.3%	2.4%	5.3%	2.0%	1.9%
必 修 科 目	60.6%	59.8%	56.8%	61.6%	65.2%	12.2%	12.2%	14.5%	11.1%	11.9%
選 択 科 目	66.0%	65.6%	65.3%	68.5%	67.2%	9.4%	9.9%	12.2%	8.3%	9.4%

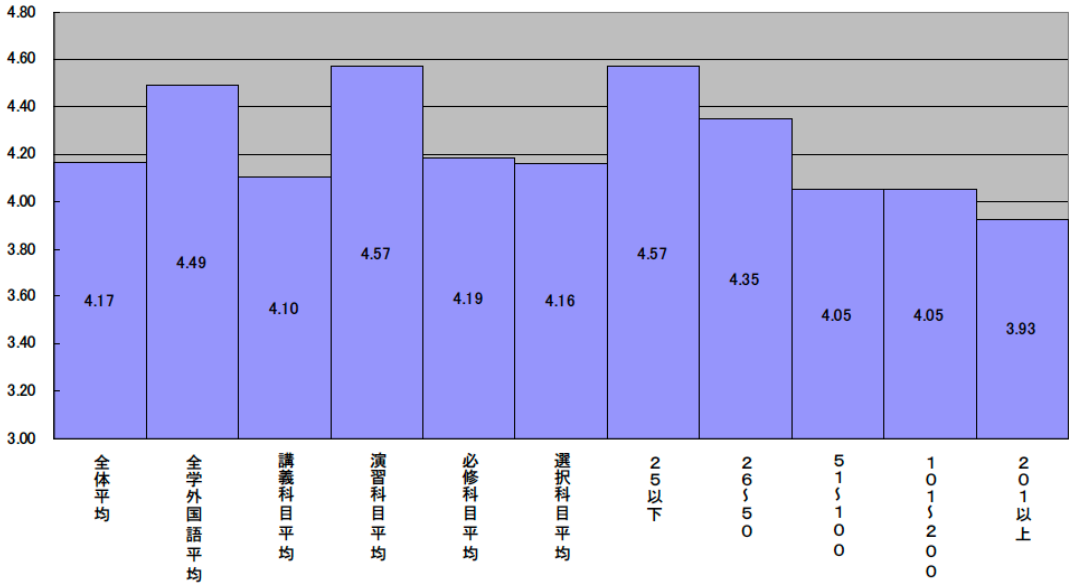




設問９　教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。

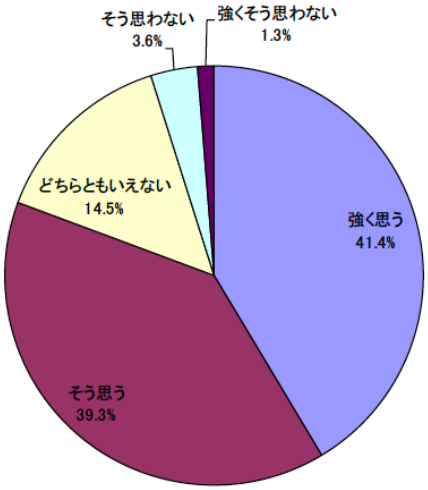
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	73.3%	73.1%	73.6%	79.1%	79.0%	4.5%	4.2%	6.7%	2.6%	2.8%
外　国　語	87.7%	87.5%	85.4%	91.7%	92.4%	1.4%	1.4%	4.9%	0.8%	1.0%
講 義 科 目	70.2%	69.8%	70.5%	76.5%	76.4%	5.1%	4.8%	7.2%	2.9%	3.2%
演 習 科 目	89.8%	89.1%	87.9%	93.2%	93.7%	1.2%	1.3%	4.5%	1.0%	0.8%
必 修 科 目	71.0%	71.0%	70.8%	77.1%	79.1%	5.5%	4.8%	7.4%	3.2%	3.2%
選 択 科 目	75.6%	75.2%	76.3%	81.0%	78.9%	3.4%	3.6%	6.1%	2.0%	2.6%

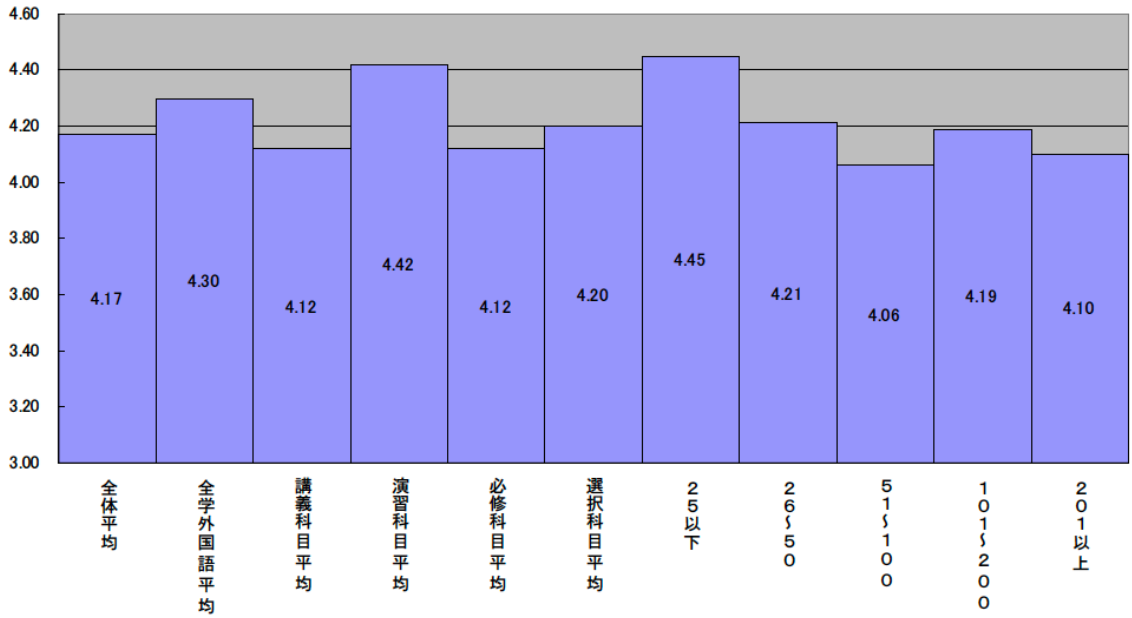




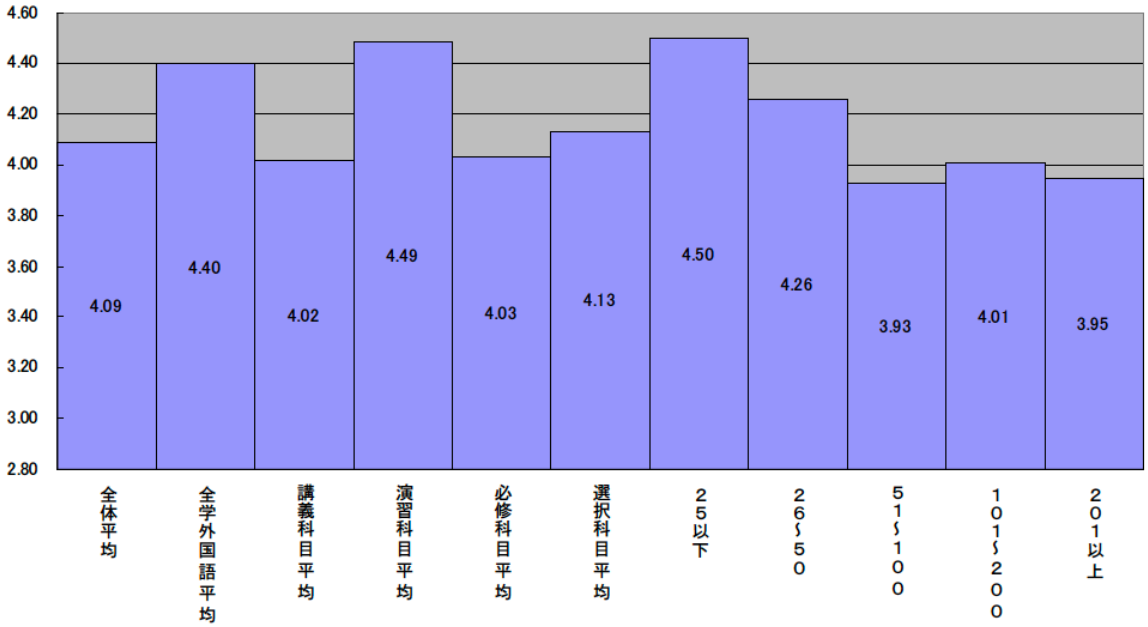
設問 10　黒板，教科書，プリントやＡＶ機器等の使われ方が効果的であった。

	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	75.0%	75.6%	72.9%	79.3%	80.9%	5.6%	5.1%	8.7%	4.4%	4.8%
外　国　語	79.2%	78.8%	77.4%	84.4%	85.1%	3.0%	3.0%	6.4%	2.3%	2.2%
講 義 科 目	73.4%	73.9%	70.8%	77.7%	79.6%	6.2%	5.8%	9.4%	5.0%	5.4%
演 習 科 目	83.8%	83.5%	82.9%	87.8%	88.9%	2.2%	2.0%	5.1%	1.4%	1.4%
必 修 科 目	68.9%	70.9%	67.9%	75.1%	77.7%	8.0%	6.8%	10.4%	6.1%	5.5%
選 択 科 目	81.4%	80.4%	77.7%	83.5%	83.1%	3.0%	3.4%	7.0%	2.7%	4.4%





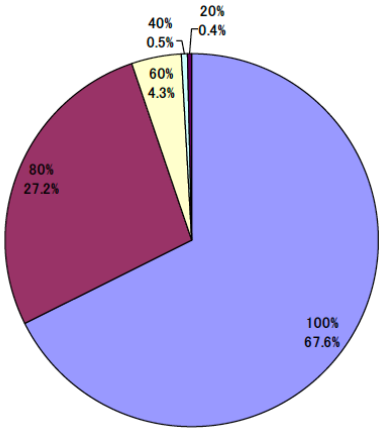
【設問５～１０の合計】

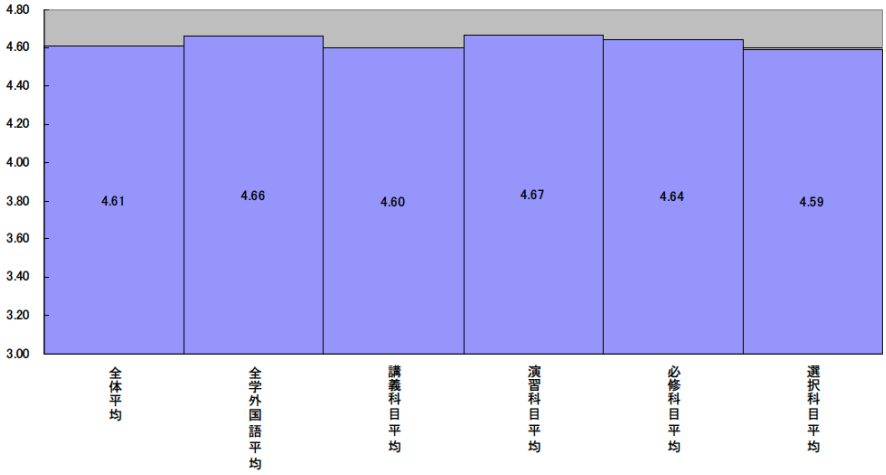

4.60
4.40
4.20
4.00
3.80
3.60
3.40
3.20
3.00
2.80
4.09
4.40
4.02
4.49
4.03
4.13
4.50
4.26
3.93
4.01
3.95
全体平均
全学外国語平均
講義科目平均
演習科目平均
必修科目平均
選択科目平均
25以下
26～50
51～100
101～200
201以上

C　学生の行動に関する項目

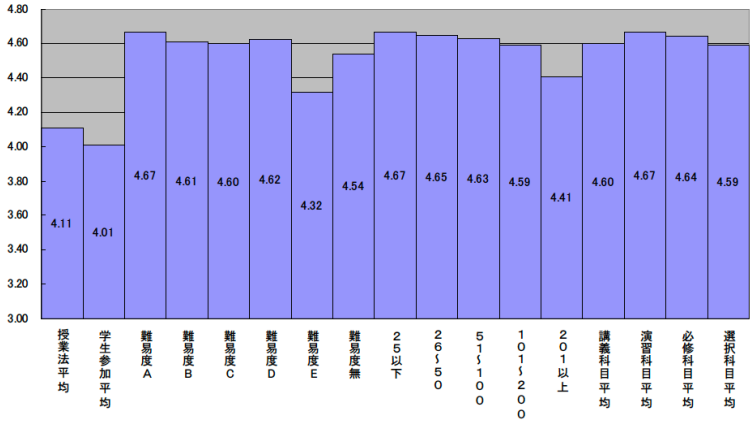
設問 11　この授業の自分の出席率は（　）%程度であった。

	80%と 100%の合計					20, 40, 60%の合計				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	93.0%	92.7%	88.0%	92.9%	94.8%	7.0%	7.3%	12.0%	7.1%	5.2%
外　国　語	96.3%	95.5%	91.7%	96.3%	96.9%	3.7%	4.5%	8.3%	3.7%	3.1%
講 義 科 目	92.3%	92.0%	87.0%	92.3%	94.4%	7.7%	8.0%	13.0%	7.7%	5.7%
演 習 科 目	96.8%	96.2%	92.5%	96.4%	97.1%	3.2%	3.8%	7.5%	3.6%	2.9%
必 修 科 目	93.1%	92.5%	87.7%	93.2%	94.5%	6.9%	7.5%	12.3%	6.8%	5.6%
選 択 科 目	93.0%	92.8%	88.3%	92.7%	95.0%	7.0%	7.2%	11.7%	7.3%	5.0%



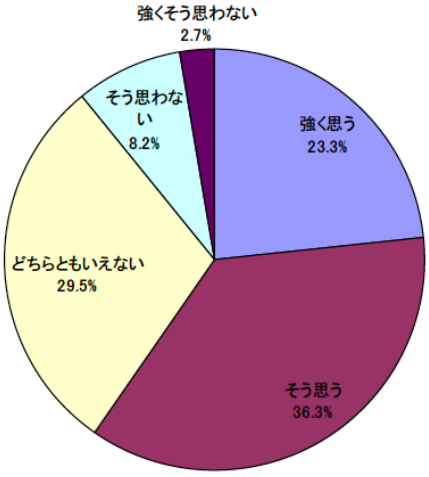


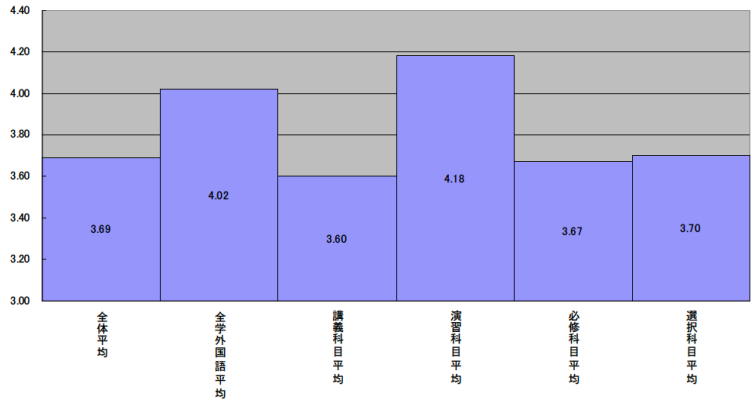
※右図において，「授業法平均」は設問 5, 6, 7 について集計した結果であり，「学生参加平均」は設問 8, 9 について集計した結果である。「難易度 A」については，設問 4 において，「A:きわめて難しい」と答えた学生が本設問 11 でどのように回答したのかを評点の平均値で表している（他の難易度も同様，「難易度無」は無回答）。さらに，「受講登録学生数」毎の本設問の評点の平均を示し，「講義科目平均」，「演習科目平均」，「必修科目平均」，「選択科目平均」については，上図の棒グラフと情報は重なるが，比較のために示した。（続く，設問 12, 13 のグラフも同様）

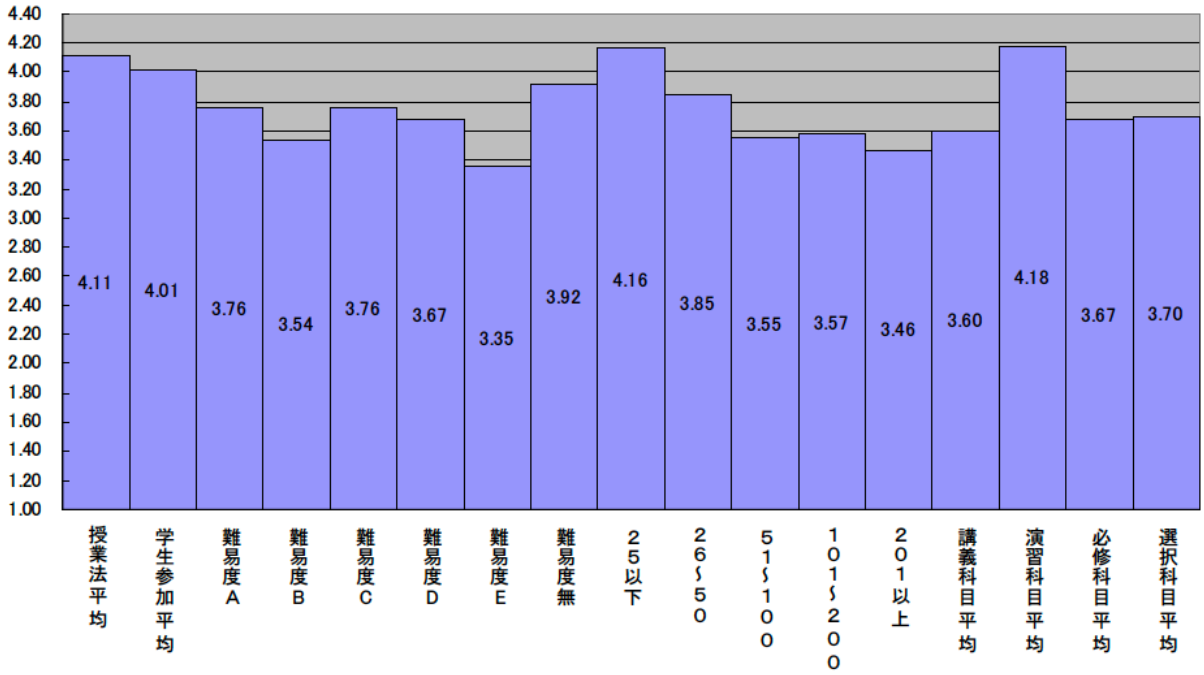


設問 12　質問，発言，調査，自習などにより，自分はこの授業に積極的に参加した。

	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	52.1%	52.5%	45.4%	57.0%	59.4%	13.8%	13.2%	16.6%	11.2%	11.0%
外　国　語	68.2%	68.3%	62.2%	74.4%	75.4%	6.5%	6.5%	9.1%	4.1%	5.1%
講 義 科 目	48.3%	48.0%	40.4%	52.8%	55.5%	15.4%	15.0%	18.7%	12.6%	12.3%
演 習 科 目	72.8%	74.2%	68.8%	79.7%	81.2%	4.7%	4.6%	7.1%	3.3%	3.7%
必 修 科 目	49.6%	49.6%	41.9%	54.3%	57.7%	14.7%	14.1%	18.1%	12.3%	11.2%
選 択 科 目	54.6%	55.5%	48.8%	59.7%	60.5%	12.8%	12.3%	15.3%	10.1%	10.8%

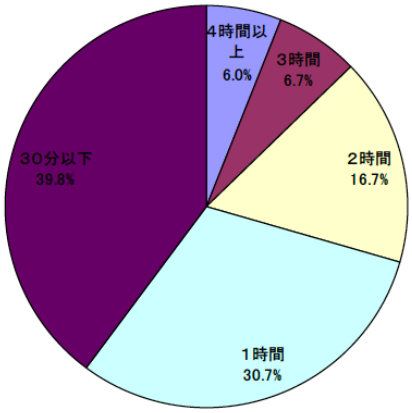


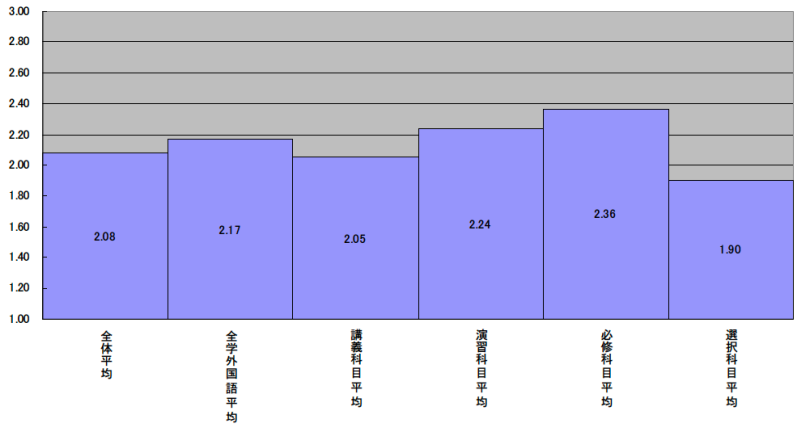


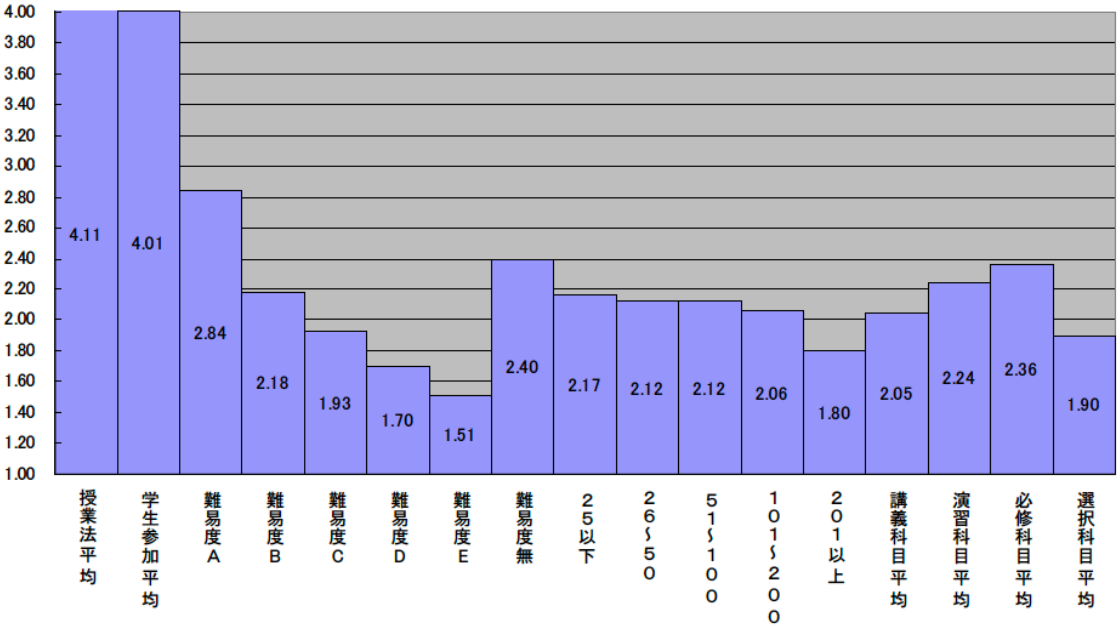


設問 13　この授業１回（90 分）のための予習・復習に費やした時間は平均（　）であった。

	3時間以上					1時間以下				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	29 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	29 前・後
全学教育全体	12.5%	12.7%	9.1%	15.3%	12.7%	69.0%	68.7%	72.2%	65.8%	70.6%
外　国　語	11.1%	10.9%	8.9%	13.6%	10.0%	65.8%	66.9%	68.9%	64.3%	69.3%
講 義 科 目	11.7%	11.8%	8.1%	14.6%	12.3%	70.6%	70.2%	73.5%	66.9%	71.4%
演 習 科 目	17.0%	17.3%	14.0%	19.1%	14.9%	60.1%	61.0%	66.4%	60.2%	66.4%
必 修 科 目	13.1%	14.3%	9.9%	17.8%	17.2%	66.2%	63.9%	68.1%	60.1%	61.6%
選 択 科 目	12.0%	11.2%	8.4%	12.8%	9.8%	71.9%	73.5%	76.2%	71.5%	76.6%



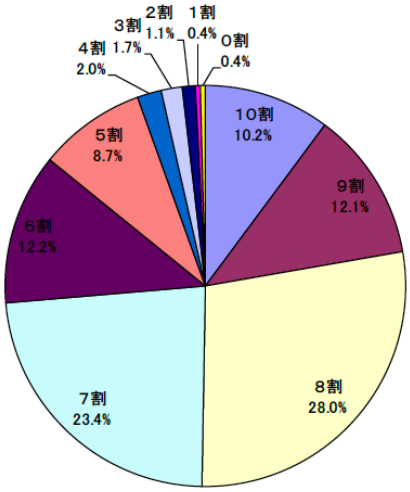


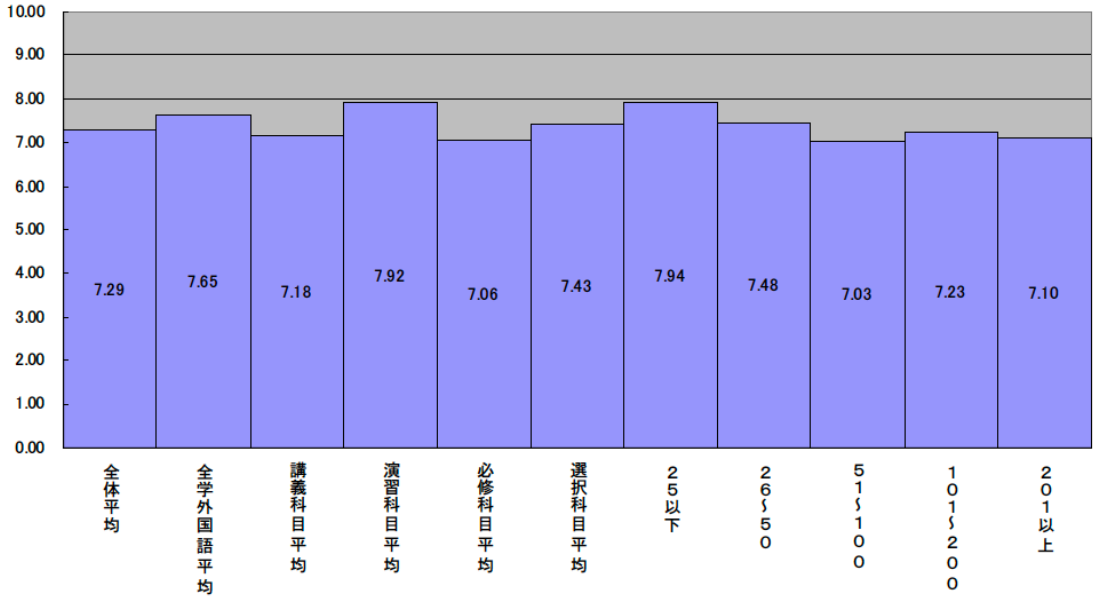


D　教育効果

設問 14　私はシラバスの到達目標を（　　）割程度達成できた。

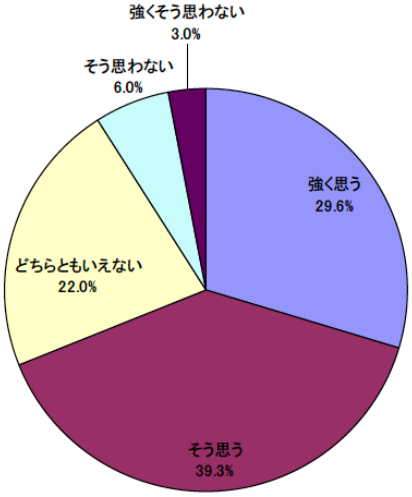
	8割以上					5割以下				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	48.5%	48.0%	48.8%	49.2%	49.9%	16.1%	16.0%	15.4%	15.5%	14.4%
外　国　語	57.7%	57.2%	59.1%	59.7%	58.7%	8.5%	8.4%	8.2%	7.8%	8.3%
講 義 科 目	45.6%	44.8%	44.8%	45.9%	47.0%	17.9%	18.0%	17.5%	17.3%	15.8%
演 習 科 目	64.0%	63.5%	67.1%	67.0%	66.5%	6.1%	6.3%	5.8%	5.5%	6.0%
必 修 科 目	43.6%	42.8%	42.3%	44.8%	44.8%	19.5%	19.9%	19.7%	19.3%	18.4%
選 択 科 目	53.5%	53.3%	54.9%	53.5%	53.2%	12.5%	12.1%	11.2%	11.7%	11.7%

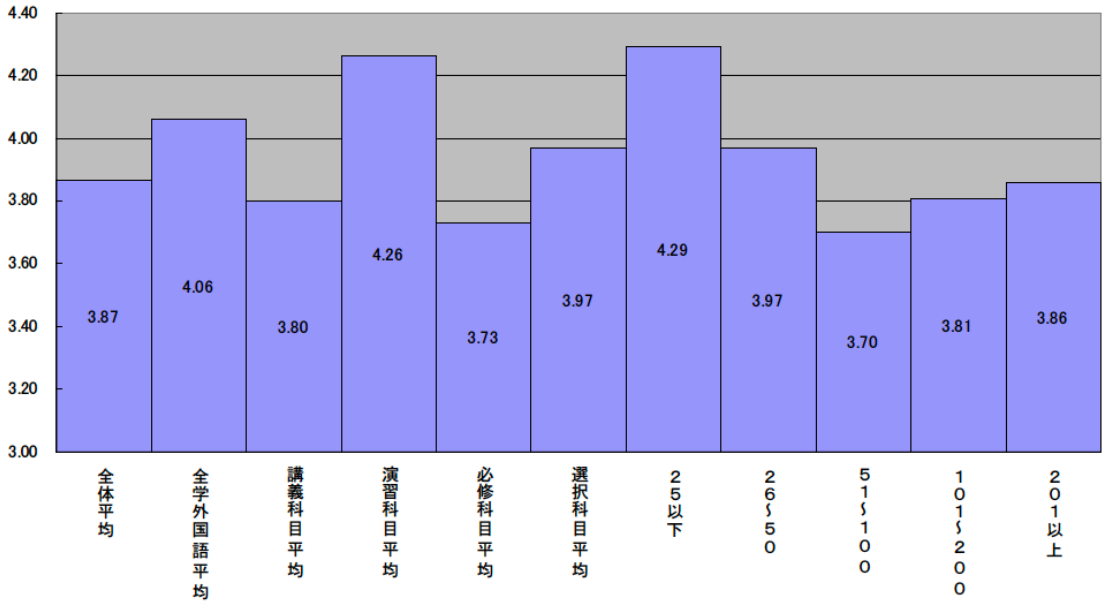




設問 15　授業により知的に刺激され，さらに深く勉強したくなった。

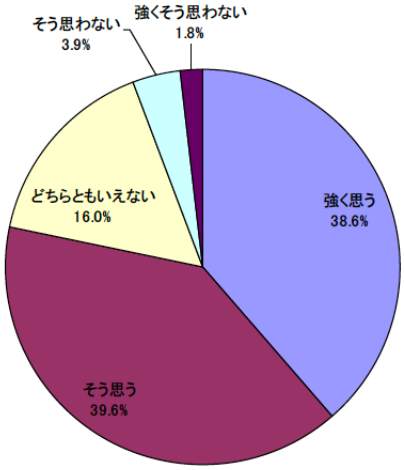
	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	65.7%	64.5%	60.8%	68.2%	69.1%	9.2%	9.6%	12.5%	9.0%	8.9%
外　国　語	73.1%	71.9%	67.6%	76.9%	77.1%	5.6%	6.1%	8.9%	4.6%	5.4%
講 義 科 目	63.0%	61.3%	57.5%	65.7%	66.4%	10.1%	10.7%	13.7%	10.0%	9.9%
演 習 科 目	80.4%	79.8%	76.2%	82.3%	84.5%	4.0%	4.3%	6.7%	3.5%	3.4%
必 修 科 目	57.7%	57.1%	52.8%	60.6%	62.1%	12.4%	12.8%	15.9%	12.7%	11.7%
選 択 科 目	74.1%	72.1%	68.5%	75.8%	73.7%	5.9%	6.4%	9.2%	5.4%	7.1%

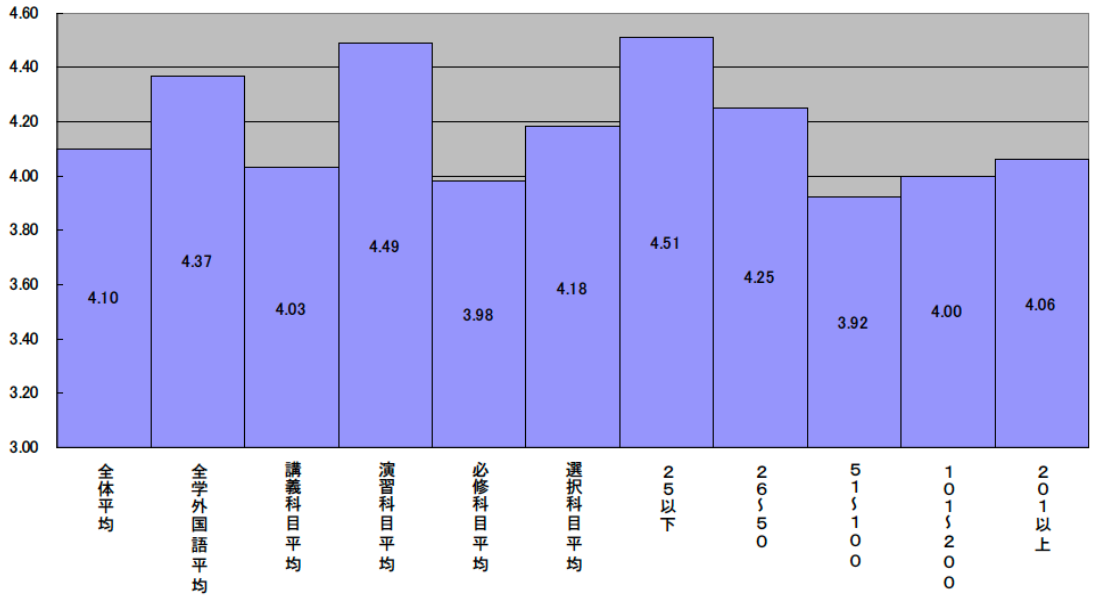




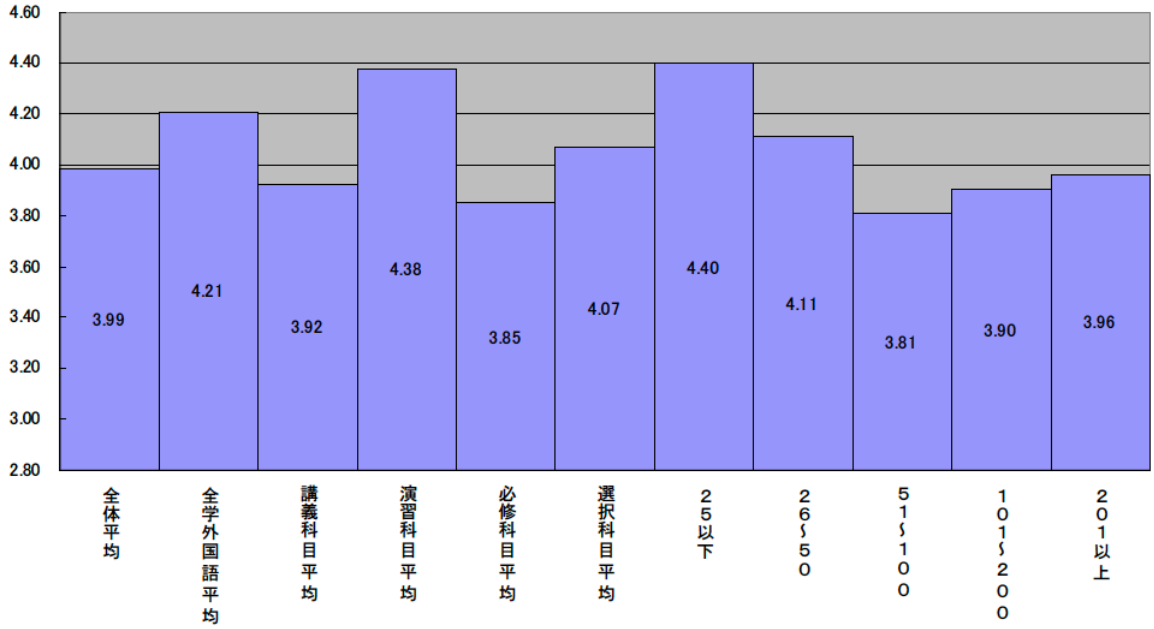
設問 16　授業は全体として満足できるものであった。

	そう思う（評点の4と5の合計）					そうは思わない（評点の1と2の合計）				
	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後	26 前・後	27 前・後	28 前・後	29 前・後	30 前・後
全学教育全体	75.0%	74.3%	71.1%	75.9%	78.4%	6.4%	6.2%	9.5%	6.4%	5.6%
外　国　語	84.6%	84.8%	81.0%	87.9%	88.8%	2.9%	2.8%	6.3%	2.0%	2.1%
講 義 科 目	72.6%	71.6%	68.1%	73.3%	76.1%	7.1%	6.9%	10.3%	7.2%	6.4%
演 習 科 目	88.2%	87.6%	85.1%	90.1%	91.6%	2.3%	2.4%	5.7%	2.1%	1.4%
必 修 科 目	68.0%	68.1%	63.9%	69.0%	72.7%	9.2%	8.5%	11.8%	9.2%	8.0%
選 択 科 目	82.3%	80.7%	78.0%	82.8%	82.2%	3.4%	3.8%	7.2%	3.6%	4.1%

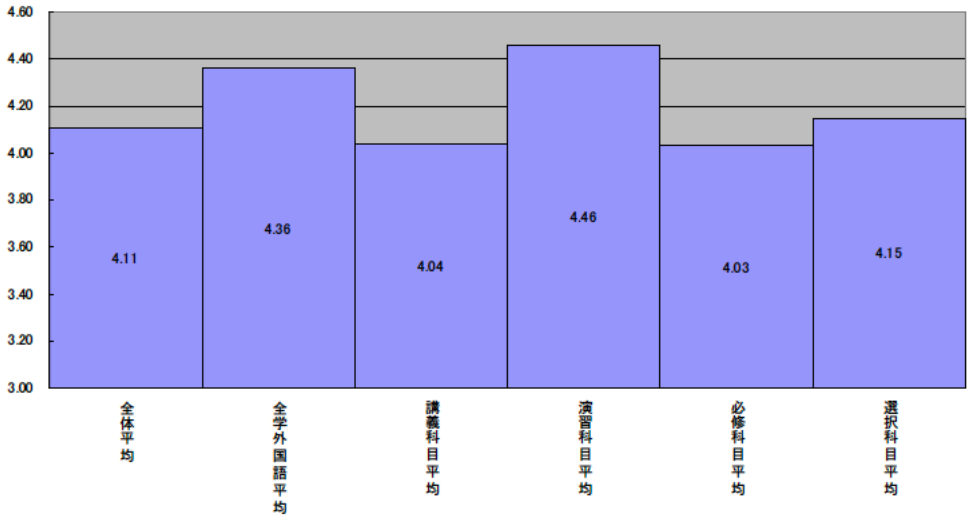




【設問１５～１６の合計】



【設問１、２、５、６、７、８、９、１０、１５、１６合計の平均値】



７．総合評点の度数分布

教員各自の総合評価の位置づけを知るために，度数分布と順位を示した。すなわち，評価を受けた全学教育科目の総合評点度数分布，最高値と最低値，該当科目数のうちの順位，たとえば，評価を受けた科目全体の数　○○中　○位　として，位置づけを明確にしている。また，教員の所属部局を文系・理系に分け，「アンケート実施科目全体」，「文系」または「理系」，並びに「当該科目区分」（第 2 章に記載した８科目区分）のそれぞれについて，総合評点の度数分布と順位を示した。

度数の幅は評点平均　0.1 でグラフとしている。幅の取り方と関連して，多少の凹凸があるが，全体的には正規分布のグラフとなっている。

〈所属部局による文系・理系区分〉　※非常勤講師は除く

〈文系部局〉

文学研究科・文学部	公共政策学連携研究部	人材育成本部
教育学研究院・教育学院・教育学部	スラブ・ユーラシア研究センター	国際連携機構・国際教育研究センター
法学研究科・高等法政教育研究センター	大学文書館	高等教育推進機構
経済学研究科・経済学研究院・経済学部	観光学高等研究センター	安全衛生本部
メディア・コミュニケーション研究院	アイヌ・先住民研究センター	産学・地域協働推進機構
国際広報メディア研究科・言語文化部	社会科学実験研究センター	国際連携研究教育局
外国語教育センター	埋蔵文化財調査センター	学生相談総合センターアクセシビリティ支援室

〈理系部局〉

理学研究院・理学部	地球環境科学研究院	量子集積エレクトロニクス研究センター
地震火山研究観測センター	先端生命科学研究院	総合博物館
医学研究院	北海道大学病院	北方生物圏フィールド科学センター
歯学研究院	低温科学研究所	人獣共通感染症リサーチセンター
薬学研究院	電子科学研究所	環境健康科学研究教育センター
工学研究院・工学部	グリーンナノテクノロジー研究センター	北極域研究センター
農学研究院	社会創造数学研究センター	サステイナビリティ学教育研究センター
獣医学研究院	遺伝子病制御研究所	保健センター
水産科学研究院	触媒科学研究所	創成研究機構
保健科学研究院	情報基盤センター	
情報科学研究科	アイソトープ総合センター	

「平成 30 年度授業アンケート」　評点平均の度数分布図①

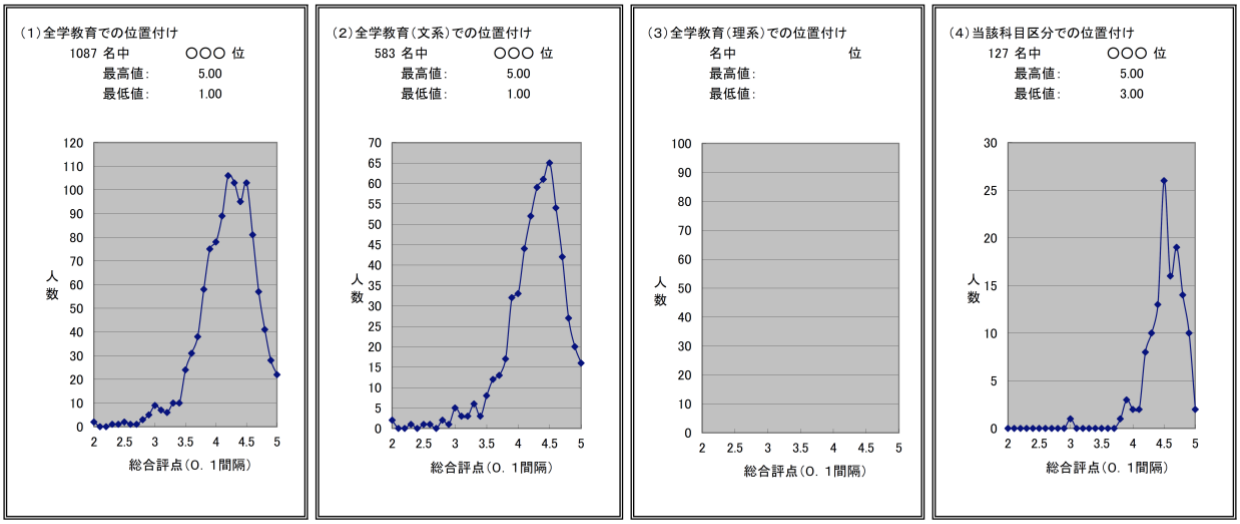
評点平均の度数分布図 ①（全学教育科目）

「平成30年度（第1学期及び第2学期通年分）全学教育科目に係る授業アンケート」集計表

部　局　名：○○○○○　**氏　名**：○○○○○　**科　目　名**：一般教育演習（フレッシュマンセミナー）○○○○○○○○○○○
授 業 形 態：演習　**科目区分**：全学教育科目（一般教育演習）　**必修・選択**：選択　**回答人数**：○○　**登録学生数**：○○○

1. あなたの総合評点：　4.55

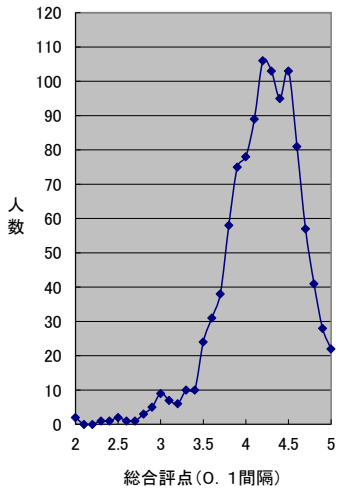
2. 総合評点の順位



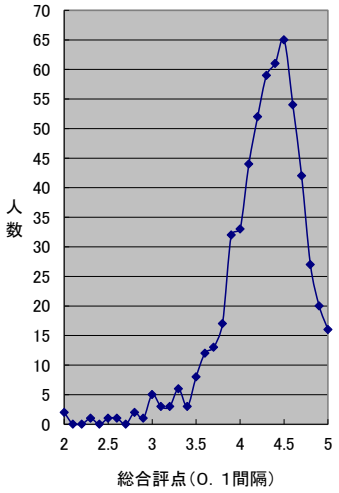
文系部局：文学研究科・文学部，教育学研究院・教育学部，法学研究科・法学部，経済学研究科・経済学部，メディア・コミュニケーション研究院，公共政策学連携研究部，スラブ研究センター，国際本部留学生センター，高等教育推進機構
大学文書館，観光学高等研究センター，外国語教育センター，アイヌ・先住民研究センター，社会科学実験研究センター，情報法政策学研究センター
理系部局：理学研究院・理学部，医学研究科・医学部，歯学研究科・歯学部，薬学研究院・薬学部，工学研究院・工学部，農学研究院・農学部，獣医学研究科・獣医学部，水産科学研究院・水産学部，情報科学研究科，地球環境科学研究院，
先端生命科学研究院，保健科学研究院，低温科学研究所，電子科学研究所，遺伝子病制御研究所，触媒化学研究センター，情報基盤センター，アイソトープ総合センター，総合博物館，量子集積エレクトロニクス研究センター，
北方生物圏フィールド科学センター，創成研究機構，人獣共通感染症リサーチセンター，環境ナノ・バイオ工学研究センター，数学連携研究センター，サステイナビリティ学教育研究センター，トポロジー理工学教育研究センター，
保健センター，環境健康科学教育研究センター

全学教育における度数分布図

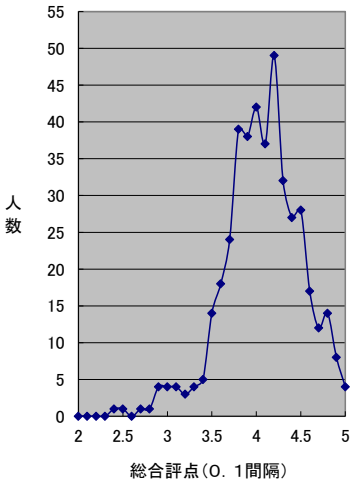
全学



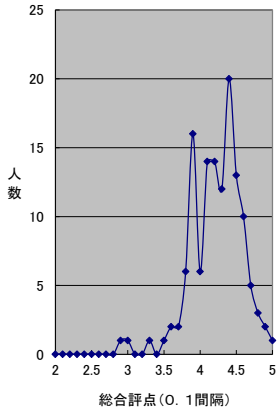
全学（文系）



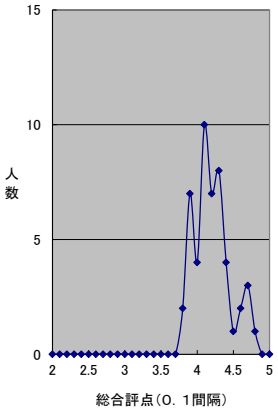
全学（理系）



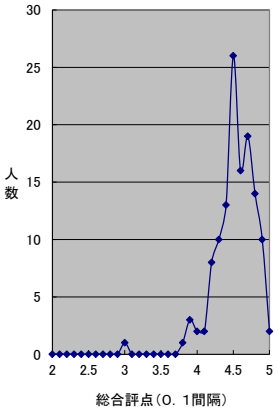
主題別科目



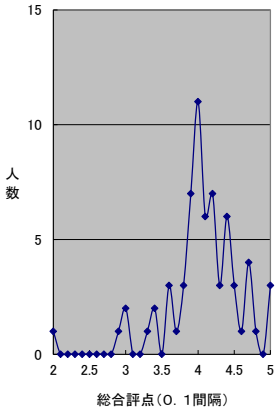
総合科目



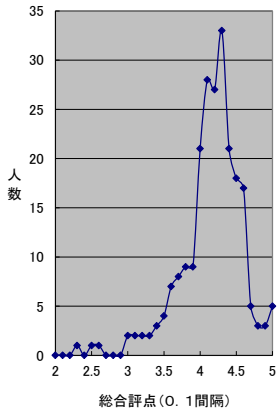
一般教育演習



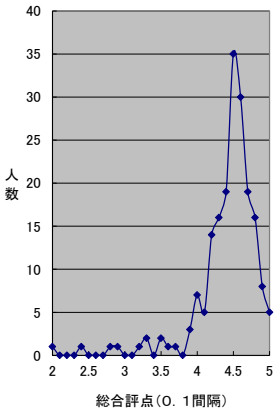
共通科目



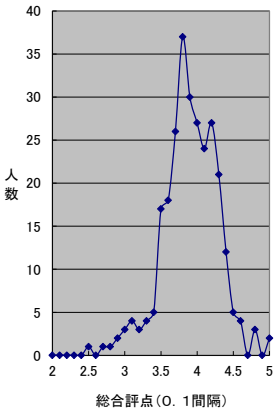
外国語科目



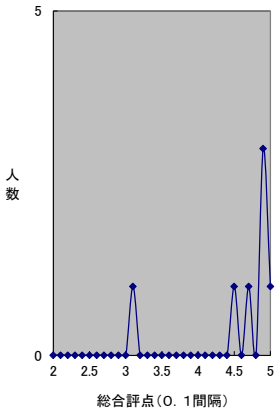
外国語演習



基礎科目



日本語・日本事情科目



８．分析のための全体集計：平成３０度第１学期及び第２学期通年分

A 授業内容

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	クラスサイズ（人） 25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上	「教員の行動」設問８，９の合計 5	4	3	2	1	無回答
1 シラバスは，授業の目標，内容，評価方法を明快に示していた。	5	41.87	48.34	39.57	54.96	41.43	42.13	55.45	44.87	37.75	38.01	39.12						
	4	44.27	42.12	45.46	37.50	41.54	46.09	37.52	43.77	44.92	47.88	46.50						
	3	12.44	8.74	13.44	6.84	15.43	10.47	6.15	10.34	15.52	12.83	12.74						
	2	0.98	0.52	1.06	0.50	0.96	0.99	0.63	0.75	1.22	0.93	1.05						
	1	0.44	0.28	0.48	0.20	0.63	0.31	0.25	0.27	0.59	0.35	0.57						
	無回答	0.18	0.24	0.18	0.18	0.14	0.21	0.11	0.23	0.18	0.21	0.16						
	平均値	4.26	4.38	4.23	4.47	4.22	4.29	4.47	4.32	4.18	4.22	4.23						
2 授業はシラバスにそって行われていた。	5	43.05	49.39	40.88	55.41	42.86	43.16	56.31	45.54	38.77	40.52	40.58						
	4	43.41	41.22	44.62	36.49	40.62	45.27	36.55	43.57	43.78	47.18	45.37						
	3	12.07	8.47	12.91	7.25	15.02	10.12	6.05	10.01	15.49	11.05	12.45						
	2	1.02	0.62	1.09	0.60	0.93	1.07	0.82	0.61	1.32	0.93	1.05						
	1	0.45	0.30	0.49	0.25	0.57	0.38	0.27	0.27	0.64	0.32	0.54						
	無回答	0.20	0.32	0.18	0.30	0.15	0.23	0.22	0.21	0.17	0.29	0.13						
	平均値	4.28	4.39	4.24	4.46	4.24	4.30	4.48	4.34	4.19	4.27	4.24						
3 授業で要求される作業量（レポート，宿題，自習など）は適切であった。	5	43.08	51.09	41.13	54.10	42.92	43.18	53.52	46.49	41.16	35.67	40.11						
	4	38.09	36.48	39.30	31.26	34.83	40.25	33.81	39.17	38.10	39.40	39.57						
	3	13.45	9.20	14.10	9.73	14.65	12.67	9.36	10.13	14.97	15.19	16.96						
	2	3.79	2.28	3.86	3.42	4.82	3.12	2.74	3.22	4.26	5.72	2.17						
	1	1.59	0.95	1.61	1.48	2.79	0.79	0.57	0.98	1.51	4.02	1.18						
	無回答	0.17	0.18	0.16	0.25	0.12	0.21	0.27	0.11	0.18	0.16	0.16						
	平均値	4.17	4.34	4.14	4.33	4.10	4.22	4.37	4.27	4.13	3.97	4.15						
4 授業内容の難易度は適切であった。	A	10.06	5.85	10.77	5.99	13.60	7.71	5.47	7.66	13.76	9.60	7.79	46.92	21.15	20.20	6.08	5.65	0.04
	B	28.91	21.68	30.07	22.36	32.87	26.31	22.22	25.35	32.57	31.71	27.45	28.79	41.16	22.20	6.36	1.49	0.12
	C	55.70	65.22	54.24	64.08	48.96	60.16	65.23	61.26	48.76	54.00	60.04	40.19	35.11	20.22	3.63	0.84	0.10
	D	4.56	6.52	4.15	6.87	3.80	5.06	6.48	5.05	4.05	3.88	3.99	39.04	31.38	19.44	7.87	2.27	0.16
	E	0.77	0.73	0.78	0.70	0.76	0.77	0.60	0.68	0.86	0.80	0.73	37.84	18.92	19.90	6.88	16.46	0.25
	A+E	10.83	6.58	11.55	6.69	14.36	8.48											
	B+D	33.47	28.20	34.22	29.23	36.67	31.37											
	C	55.70	65.22	54.24	64.08	48.96	60.16											
	無回答	0.16	0.18	0.14	0.28	0.08	0.21	0.22	0.14	0.16	0.16	0.10	42.00	36.00	20.00	2.00	0.00	40.48
	平均値	3.90	4.17	3.85	4.15	3.69	4.03	4.18	4.06	3.68	3.87	4.03	3.93	3.98	3.87	3.56	2.73	3.98
設問1～4の合計	5	34.51	38.66	33.09	42.62	35.20	34.04	42.69	36.14	32.86	30.95	31.90						
	4	38.67	35.37	39.86	31.90	37.46	39.48	32.53	37.96	39.84	41.54	39.72						
	3	23.42	22.92	23.67	21.97	23.52	23.35	21.69	22.94	23.69	23.28	25.55						
	2	2.59	2.48	2.54	2.85	2.63	2.56	2.67	2.41	2.71	2.87	2.07						
	1	0.81	0.57	0.84	0.66	1.19	0.56	0.42	0.55	0.90	1.37	0.76						
	無回答	0.18	0.23	0.17	0.25	0.12	0.21	0.20	0.17	0.17	0.21	0.14						
	平均値	4.15	4.32	4.12	4.35	4.06	4.21	4.38	4.25	4.05	4.08	4.16						

B 授業手法，教員の行動

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均	クラスサイズ（人） 25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
5 教員の説明はわかりやすかった。	5	36.91	50.24	33.60	55.76	35.71	37.70	55.42	43.53	30.83	30.96	31.12
	4	38.98	37.82	39.78	34.42	35.29	41.42	35.15	38.93	37.95	43.09	42.08
	3	16.46	9.19	18.01	7.70	18.47	15.14	7.51	12.82	19.90	17.83	20.19
	2	5.64	2.12	6.35	1.61	7.48	4.42	1.51	3.63	8.09	6.42	4.86
	1	2.01	0.63	2.27	0.50	3.05	1.32	0.41	1.09	3.23	1.71	1.76
	無回答	0.25	0.30	0.24	0.30	0.21	0.27	0.35	0.16	0.25	0.32	0.19
	平均値	4.03	4.35	3.96	4.43	3.93	4.10	4.44	4.20	3.85	3.95	3.96
6 教員の熱意が伝わってきた。	5	43.93	55.39	41.08	60.17	41.14	45.75	62.48	49.94	37.55	38.58	39.40
	4	37.32	34.78	38.44	30.96	34.69	39.08	31.06	36.69	37.25	42.09	40.26
	3	14.42	8.22	15.68	7.26	17.75	12.23	5.33	10.94	18.65	15.24	16.09
	2	3.12	1.25	3.46	1.21	4.40	2.28	0.85	1.84	4.61	3.06	3.13
	1	1.21	0.36	1.35	0.40	2.02	0.67	0.27	0.59	1.95	1.04	1.12
	無回答	0.15	0.18	0.15	0.18	0.04	0.22	0.16	0.13	0.18	0.11	0.13
	平均値	4.20	4.44	4.14	4.49	4.09	4.27	4.55	4.34	4.04	4.14	4.14
7 教員の話し方は聞き取りやすかった。	5	41.73	53.37	38.62	59.41	40.35	42.64	60.89	46.81	36.17	36.23	35.62
	4	37.26	35.64	38.25	31.60	33.60	39.68	31.51	38.00	36.66	41.74	39.26
	3	14.56	8.48	15.88	7.11	16.66	13.18	6.09	11.40	18.05	14.41	18.54
	2	4.59	2.00	5.12	1.56	6.47	3.35	1.23	2.81	6.34	5.65	4.53
	1	1.86	0.52	2.13	0.33	2.92	1.15	0.27	0.98	2.77	1.97	2.04
	無回答	0.15	0.14	0.15	0.13	0.08	0.20	0.11	0.13	0.14	0.29	0.10
	平均値	4.12	4.39	4.06	4.48	4.02	4.19	4.52	4.27	3.97	4.05	4.02
8 教員は効果的に学生の参加（発言，自主的学習，作業など）を促した。	5	33.15	56.64	28.04	62.20	33.34	33.01	61.34	45.08	23.79	22.12	23.60
	4	33.23	34.20	34.02	28.65	31.81	34.16	28.70	35.63	33.43	35.56	30.76
	3	23.26	7.74	26.08	7.26	22.97	23.46	8.06	14.50	28.79	30.05	29.89
	2	7.80	1.17	8.89	1.66	8.37	7.43	1.78	3.85	10.17	9.85	11.50
	1	2.56	0.24	2.97	0.23	3.50	1.94	0.11	0.95	3.82	2.42	4.25
	無回答	0.15	0.12	0.16	0.10	0.06	0.22	0.14	0.11	0.16	0.21	0.16
	平均値	3.87	4.46	3.75	4.51	3.83	3.89	4.49	4.20	3.63	3.65	3.58
9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。	5	41.87	58.16	37.83	64.79	43.91	40.51	64.93	49.82	35.70	34.19	30.68
	4	37.09	34.26	38.53	28.91	35.21	38.34	28.57	37.31	38.52	40.88	37.30
	3	18.24	6.54	20.49	5.50	17.73	18.59	5.77	11.19	22.24	21.73	27.80
	2	1.96	0.71	2.21	0.55	2.15	1.84	0.55	1.25	2.46	2.34	2.75
	1	0.83	0.32	0.94	0.25	1.01	0.72	0.19	0.43	1.07	0.85	1.47
	無回答	0.19	0.18	0.20	0.10	0.12	0.23	0.14	0.14	0.19	0.27	0.22
	平均値	4.17	4.49	4.10	4.57	4.19	4.16	4.57	4.35	4.05	4.05	3.93
10 黒板，教科書，プリントやＡＶ機器等の使われ方が効果的であった。	5	41.87	47.21	39.59	54.84	41.29	42.23	56.41	42.99	37.83	40.93	37.56
	4	39.07	37.92	39.97	34.01	36.41	40.84	33.98	38.94	38.90	42.53	41.68
	3	14.24	12.63	15.03	9.71	16.80	12.56	8.19	14.50	16.53	12.33	15.48
	2	3.59	1.74	4.03	1.03	3.87	3.41	1.07	2.88	4.83	3.20	4.09
	1	1.23	0.50	1.37	0.40	1.63	0.96	0.36	0.68	1.91	1.01	1.18
	無回答	0.21	0.10	0.24	0.05	0.14	0.26	0.05	0.16	0.24	0.27	0.32
	平均値	4.17	4.30	4.12	4.42	4.12	4.20	4.45	4.21	4.06	4.19	4.10
設問5～10の合計	5	39.91	53.50	36.46	59.53	39.29	40.31	60.25	46.36	33.64	33.84	33.00
	4	37.16	35.77	38.16	31.43	34.50	38.92	31.50	37.58	37.12	40.98	38.55
	3	16.87	8.80	18.53	7.42	18.40	15.86	6.83	12.56	20.69	18.60	21.34
	2	4.45	1.50	5.01	1.27	5.46	3.79	1.16	2.71	6.08	5.09	5.14
	1	1.62	0.43	1.84	0.35	2.36	1.13	0.27	0.79	2.46	1.50	1.97
	無回答	0.18	0.17	0.19	0.14	0.11	0.23	0.16	0.14	0.19	0.24	0.19
	平均値	4.09	4.40	4.02	4.49	4.03	4.13	4.50	4.26	3.93	4.01	3.95

C 受講生の行動(1)

		全体 平均	外国語 平均	講義科目 平均	演習科目 平均	必修科目 平均	選択科目 平均
11 この授業の自分の出席率は( )%程度であった。	100	67.42	69.73	66.87	70.57	71.31	64.85
	80	27.34	27.18	27.48	26.54	23.15	30.12
	60	4.36	2.58	4.72	2.34	4.61	4.20
	40	0.51	0.38	0.53	0.40	0.55	0.49
	20	0.36	0.14	0.40	0.15	0.39	0.34
	無回答	0.13	0.14	0.13	0.10	0.10	0.14
	平均値	4.61	4.66	4.60	4.67	4.64	4.59
12 質問，発言，調査，自習などにより，自分はこの授業に積極的に参加した。	5	23.27	32.36	20.15	40.96	23.87	22.86
	4	36.10	43.01	35.38	40.21	33.80	37.62
	3	29.65	19.57	32.20	15.18	31.09	28.71
	2	8.29	4.09	9.23	2.97	8.15	8.39
	1	2.68	0.97	3.04	0.68	3.09	2.41
	無回答	0.44	0.42	0.46	0.35	0.40	0.47
	平均値	3.69	4.02	3.60	4.18	3.67	3.70
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( ) であった。	4H以上	6.00	4.24	5.80	7.07	8.25	4.51
	3H	6.73	5.77	6.53	7.85	8.96	5.26
	2H	16.63	20.70	16.28	18.68	21.16	13.63
	1H	30.75	41.04	30.02	34.99	33.59	28.87
	30分以下	39.89	28.25	41.36	31.39	28.05	47.73
	無回答	0.33	0.22	0.32	0.35	0.24	0.38
	平均値	2.08	2.17	2.05	2.24	2.36	1.90
設問11～13の合計	5	32.26	35.46	30.97	39.56	34.50	30.77
	4	23.39	25.31	23.13	24.87	21.96	24.33
	3	16.87	14.27	17.72	12.06	18.94	15.50
	2	13.18	15.17	13.26	12.78	14.09	12.58
	1	14.31	9.79	14.93	10.73	10.51	16.82
	無回答	0.30	0.26	0.30	0.27	0.25	0.33
	平均値	3.46	3.61	3.42	3.70	3.56	3.40

C 受講生の行動(2)

		授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
11 この授業の自分の出席率は( )%程度であった。	5	4.17	4.08	73.76	66.38	66.84	67.93	62.75	69.23	69.33	69.97	69.78	65.04	55.56
	4	4.09	3.97	21.65	29.39	27.32	27.63	25.00	23.08	28.35	26.16	24.73	30.14	33.68
	3	3.57	3.49	3.36	3.36	5.17	3.37	2.94	3.85	2.05	3.17	4.72	4.18	8.24
	2	3.61	3.46	0.52	0.57	0.45	0.90	0.49	0.00	0.14	0.50	0.48	0.40	1.21
	1	3.17	2.92	0.71	0.30	0.22	0.16	8.82	3.85	0.14	0.20	0.28	0.24	1.31
	無回答	2.18	1.75	0.11	0.10	0.05	0.00	0.00	38.10	0.05	0.11	0.15	0.16	0.13
12 質問，発言，調査，自習などにより，自分はこの授業に積極的に参加した。	5	4.70	4.70	38.36	15.41	24.46	24.23	28.57	32.00	40.08	26.94	18.93	18.81	17.03
	4	4.17	4.10	21.89	39.40	37.27	35.07	18.72	40.00	40.02	40.78	33.70	34.90	32.71
	3	3.79	3.63	23.32	31.87	29.94	26.72	27.59	16.00	16.04	24.28	34.45	33.54	34.35
	2	3.60	3.39	9.96	10.71	6.48	11.25	9.36	12.00	3.15	6.51	9.62	9.95	11.01
	1	3.33	3.05	6.47	2.60	1.86	2.73	15.76	0.00	0.71	1.49	3.30	2.80	4.90
	無回答	3.60	3.44	0.37	0.35	0.38	0.58	0.49	40.48	0.41	0.39	0.49	0.45	0.38
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( ) であった。	5	4.50	4.55	27.06	4.80	3.13	2.31	3.92	12.00	5.75	4.50	5.83	9.80	4.93
	4	4.10	4.12	8.07	10.91	4.66	3.63	0.98	4.00	7.18	5.55	6.93	8.44	5.60
	3	4.06	4.05	15.40	17.32	17.18	9.74	6.37	24.00	19.23	19.06	18.09	10.55	11.61
	2	4.15	4.08	21.19	31.79	32.16	29.98	19.61	32.00	34.14	39.08	31.89	20.75	20.15
	1	4.05	3.85	28.29	35.18	42.86	54.34	69.12	28.00	33.70	31.80	37.25	50.45	57.71
	無回答	3.34	3.14	0.22	0.26	0.26	0.41	0.00	40.48	0.35	0.23	0.38	0.29	0.32
設問11～13の合計	5	4.31	4.26	46.41	28.89	31.50	31.55	31.75	38.16	38.42	33.82	31.55	31.24	25.86
	4	4.13	4.05	17.20	26.56	23.08	22.11	14.89	22.37	25.18	24.16	21.78	24.49	24.00
	3	3.86	3.76	14.02	17.51	17.41	13.26	12.27	14.47	12.43	15.49	19.07	16.07	18.06
	2	4.03	3.93	10.55	14.35	13.02	14.03	9.82	14.47	12.46	15.36	13.99	10.36	10.79
	1	3.99	3.79	11.82	12.69	14.98	19.06	31.26	10.53	11.51	11.16	13.61	17.83	21.30
	無回答	3.30	3.09	0.24	0.24	0.23	0.33	0.16	39.68	0.27	0.24	0.34	0.30	0.28

D 教育効果(1)

		全体 平均	外国語 平均	講義科目 平均	演習科目 平均	必修科目 平均	選択科目 平均
14 シラバスに記載されている到達目標は，（ ）割程度達成できた。	10	9.95	11.42	9.07	14.96	8.62	10.83
	9	11.96	15.60	10.77	18.63	10.03	13.21
	8	27.97	31.65	27.11	32.86	26.18	29.16
	7	23.45	23.26	24.11	19.77	23.61	23.35
	6	12.32	9.80	13.12	7.82	13.20	11.74
	5	8.85	5.52	9.66	4.23	11.28	7.25
	4	1.97	1.06	2.21	0.56	2.32	1.74
	3	1.71	0.96	1.89	0.66	2.35	1.29
	2	1.05	0.48	1.18	0.33	1.40	0.83
	1	0.40	0.12	0.46	0.08	0.52	0.33
	0	0.37	0.14	0.41	0.10	0.49	0.29
	無回答	1.12	0.73	1.15	0.90	1.53	0.85
	平均値	7.29	7.65	7.18	7.92	7.06	7.43

D 教育効果(2)

		授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
14 シラバスに記載されている到達目標は，（ ）割程度達成できた。	10	4.63	4.56	16.93	4.81	10.85	13.00	28.50	28.00	15.27	9.94	8.75	9.32	8.56
	9	4.43	4.32	6.78	7.96	14.25	19.54	17.50	8.00	19.57	13.59	9.53	10.12	10.43
	8	4.24	4.13	16.81	24.06	31.60	33.69	21.50	24.00	32.39	30.50	25.54	28.00	26.40
	7	4.04	3.94	14.63	26.01	24.34	17.96	9.50	16.00	19.18	24.52	23.21	24.69	25.85
	6	3.89	3.78	12.87	18.14	9.79	6.54	5.50	8.00	7.97	10.91	14.34	13.44	11.85
	5	3.65	3.56	14.21	12.19	6.45	5.63	7.00	8.00	3.75	6.63	11.47	8.94	9.88
	4	3.58	3.49	4.56	2.89	1.07	1.49	1.00	8.00	0.80	1.53	2.43	2.34	2.12
	3	3.41	3.39	5.13	2.25	0.88	0.91	2.50	0.00	0.47	1.39	2.23	1.72	1.96
	2	3.52	3.50	4.21	1.01	0.52	0.91	2.00	0.00	0.44	0.67	1.35	1.02	1.51
	1	2.88	3.03	1.49	0.47	0.14	0.25	3.50	0.00	0.08	0.13	0.60	0.24	0.80
	0	2.73	2.70	2.37	0.21	0.10	0.08	1.50	0.00	0.08	0.20	0.56	0.16	0.61
	無回答	3.74	3.69	2.65	0.95	0.84	0.66	1.96	40.48	0.96	0.72	1.35	1.35	0.96

D 教育効果(3)

		全体 平均	外国語 平均	講義科目 平均	演習科目 平均	必修科目 平均	選択科目 平均
15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	29.89	35.17	27.10	45.69	26.85	31.90
	4	39.23	41.95	39.31	38.78	35.27	41.84
	3	21.95	17.54	23.67	12.13	26.17	19.16
	2	6.00	3.96	6.59	2.64	7.23	5.18
	1	2.94	1.39	3.32	0.75	4.48	1.92
	無回答	0.26	0.16	0.29	0.13	0.14	0.34
	平均値	3.87	4.06	3.80	4.26	3.73	3.97
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	38.97	51.15	35.31	59.71	35.52	41.24
	4	39.45	37.67	40.77	31.93	37.21	40.93
	3	15.97	9.12	17.56	6.96	19.31	13.76
	2	3.87	1.31	4.41	0.80	5.21	2.98
	1	1.75	0.75	1.96	0.60	2.75	1.09
	無回答	0.25	0.22	0.27	0.13	0.16	0.30
	平均値	4.10	4.37	4.03	4.49	3.98	4.18
設問15～16の合計	5	34.43	43.16	31.21	52.70	31.19	36.57
	4	39.34	39.81	40.04	35.36	36.24	41.39
	3	18.96	13.33	20.62	9.55	22.74	16.46
	2	4.93	2.64	5.50	1.72	6.22	4.08
	1	2.34	1.07	2.64	0.68	3.62	1.50
	無回答	0.26	0.19	0.28	0.13	0.15	0.32
	平均値	3.99	4.21	3.92	4.38	3.85	4.07

D 教育効果(4)

		授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ～50	51 ～100	101 ～200	201 以上
15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	4.72	4.61	37.81	19.54	33.59	32.67	30.39	37.50	47.32	32.81	24.62	25.54	27.20
	4	4.13	4.00	18.25	42.64	41.24	42.30	22.06	29.17	38.82	40.60	36.75	42.20	42.02
	3	3.65	3.58	20.68	26.03	20.57	16.63	17.16	20.83	10.66	19.51	26.66	23.03	22.37
	2	3.33	3.33	10.25	9.14	3.51	6.26	9.80	12.50	2.32	5.10	7.70	6.11	6.02
	1	2.73	2.89	13.01	2.65	1.09	2.14	20.59	0.00	0.87	1.97	4.26	3.12	2.40
	無回答	3.07	2.80	0.30	0.22	0.18	0.08	0.00	42.86	0.14	0.14	0.30	0.37	0.35
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	4.73	4.58	39.53	24.95	45.65	44.23	41.67	50.00	60.45	45.31	31.85	31.59	35.33
	4	4.02	3.89	20.87	47.47	39.24	35.58	19.12	34.62	32.41	38.95	39.60	44.40	42.09
	3	3.37	3.37	19.93	20.76	13.06	13.01	13.24	7.69	5.80	12.23	20.23	17.99	17.75
	2	2.78	2.99	11.07	5.43	1.62	5.02	6.37	7.69	0.85	2.45	5.73	4.13	3.33
	1	2.08	2.41	8.60	1.39	0.43	2.14	19.61	0.00	0.49	1.06	2.59	1.89	1.51
	無回答	3.08	2.76	0.30	0.19	0.17	0.16	0.00	38.10	0.19	0.18	0.26	0.21	0.45
設問15～16の合計	5	4.73	4.59	38.67	22.25	39.62	38.45	36.03	44.00	53.88	39.06	28.24	28.57	31.26
	4	4.08	3.94	19.56	45.05	40.24	38.95	20.59	32.00	35.62	39.78	38.18	43.30	42.05
	3	3.53	3.49	20.31	23.39	16.81	14.82	15.20	14.00	8.23	15.87	23.44	20.51	20.06
	2	3.11	3.20	10.66	7.29	2.57	5.64	8.09	10.00	1.59	3.78	6.72	5.11	4.67
	1	2.49	2.71	10.81	2.02	0.76	2.14	20.10	0.00	0.68	1.51	3.42	2.50	1.95
	無回答	3.07	2.78	0.30	0.21	0.17	0.12	0.00	40.48	0.16	0.16	0.28	0.29	0.40

全体集計1（1） アンケート回答数全体の平均

		全体 平均	外国語 平均	講義科目 平均	演習科目 平均	必修科目 平均	選択科目 平均
設問1～2，5～10，15～16の平均値	回答数	26,704	5,055	22,706	3,986	10,622	16,074
	平均値1	4.11	4.36	4.04	4.46	4.03	4.15
	標準偏差	0.3726	0.2154	0.3582	0.2340	0.3597	0.3602

全体集計1（2） 授業毎平均値の平均

		全体 平均	外国語 平均	講義科目 平均	演習科目 平均	必修科目 平均	選択科目 平均
設問1～2，5～10，15～16の平均値	授業数	795	257	514	277	236	556
	平均値2	4.25	4.41	4.11	4.51	4.11	4.31
	標準偏差	0.4473	0.2954	0.4398	0.3293	0.4395	0.4357

全体集計2

			職（人）					授業の形態（人）		必修・選択（人）		アンケート
			教授	准教授	講師	助教	非常勤	講義	演習	必修	選択	提出枚数（枚）
全　体			339	251	22	57	124	514	277	236	556	26,704
外国語			103	68	1	17	68	98	159	108	149	5,055
所属部局	文学研究科・文学部	01	33	30	0	5	4	55	17	5	66	2,642
	教育学研究院・教育学部	02	6	6	0	4	3	11	6	0	19	639
	法学研究科・法学部	03	5	6	1	3	0	10	5	2	13	862
	経済学研究科・経済学部	04	12	12	0	1	1	18	8	3	23	835
	理学研究院・理学部	05	68	49	6	12	14	135	12	54	95	6,471
	医学研究科・医学部	06	4	1	0	5	0	1	9	0	10	135
	歯学研究科・歯学部	07	2	4	0	1	0	2	5	0	7	521
	薬学研究院・薬学部	08	3	0	7	0	0	6	4	1	9	405
	工学研究院・工学部	09	16	18	0	3	3	27	13	14	26	1,423
	農学研究院・農学部	10	6	3	4	0	0	6	7	1	12	331
	獣医学研究科・獣医学部	11	6	0	1	0	0	4	3	0	7	245
	水産科学研究院・水産学部	12	4	2	0	4	0	5	5	0	10	429
	メディア・コミュニケーション研究院	13	97	54	0	7	25	78	105	79	104	3,831
	保健科学研究院	14	4	2	0	1	0	3	4	0	7	127
	情報科学研究科	15	6	13	0	0	0	9	10	3	16	893
	地球環境科学研究院	16	21	10	0	0	0	30	1	11	20	1,379
	先端生命科学研究院	17	3	1	0	3	0	6	1	2	5	328
	公共政策学連携研究部	18	4	4	0	0	0	5	3	2	6	381
	北海道大学病院	19										
	低温科学研究所	20	2	2	0	1	0	3	2	1	4	182
	電子科学研究所	21	8	2	0	3	0	15	0	6	9	438
	遺伝子病制御研究所	22	4	0	0	0	0	2	2	0	4	141
	触媒化学研究センター	23	4	0	0	0	0	2	2	1	3	118
	スラブ・ユーラシア研究センター	24	1	0	0	0	0	1	0	0	1	39
	情報基盤センター	25	2	2	0	0	0	2	2	2	2	272
	アイソトープ総合センター	26	1	0	0	0	0	1	0	0	1	8
	量子集積エレクトロニクス研究センター	27										
	総合博物館	28	1	0	2	0	0	2	1	0	3	93
	北方生物圏フィールド科学センター	29	1	0	0	0	0	1	0	0	1	39
	人獣共通感染症リサーチセンター	31										
	大学文書館	32	1	0	0	0	0	1	0	0	1	83
	観光学高等研究センター	33	0	3	0	0	0	3	0	0	3	235
	外国語教育センター	34										
	アイヌ・先住民研究センター	35										
	社会科学実験研究センター	36										
	サステイナビリティ学教育研究センター	37										
	環境健康科学研究教育センター	38	1	0	0	0	0	1	0	0	1	76
	保健センター	40	0	0	0	0	5	3	2	3	2	26
	創成研究機構	43	0	1	0	0	4	4	1	1	4	134
	国際本部	44										
	高等教育推進機構	45										
	非常勤講師（全学教育科目）	99	0	1	0	0	65	48	18	45	21	2,274

全体集計3

設問	平均	全体平均				外国語平均			
		講義	演習	必修	選択	講義	演習	必修	選択
1	4.26	4.23	4.47	4.22	4.29	4.33	4.43	4.32	4.47
2	4.28	4.24	4.46	4.24	4.30	4.36	4.42	4.35	4.46
3	4.17	4.14	4.33	4.10	4.22	4.31	4.38	4.28	4.45
4	3.90	3.85	4.15	3.69	4.03	4.16	4.19	4.13	4.24
5	4.03	3.96	4.43	3.93	4.10	4.29	4.42	4.27	4.48
6	4.20	4.14	4.49	4.09	4.27	4.42	4.46	4.38	4.52
7	4.12	4.06	4.48	4.02	4.19	4.34	4.46	4.33	4.50
8	3.87	3.75	4.51	3.83	3.89	4.40	4.53	4.38	4.58
9	4.17	4.10	4.57	4.19	4.16	4.45	4.55	4.43	4.59
１０	4.17	4.12	4.42	4.12	4.20	4.26	4.33	4.24	4.39
１５	3.87	3.80	4.26	3.73	3.97	3.97	4.16	3.95	4.23
１６	4.10	4.03	4.49	3.98	4.18	4.31	4.45	4.28	4.52
平均	4.09	4.04	4.42	4.01	4.15	4.30	4.40	4.28	4.45
１１	4.61	4.60	4.67	4.64	4.59	4.70	4.62	4.68	4.63
１２	3.69	3.60	4.18	3.67	3.70	3.94	4.11	3.93	4.15
１３	2.08	2.05	2.24	2.36	1.90	2.24	2.09	2.25	2.03
平均	3.46	3.42	3.70	3.56	3.40	3.62	3.61	3.62	3.60